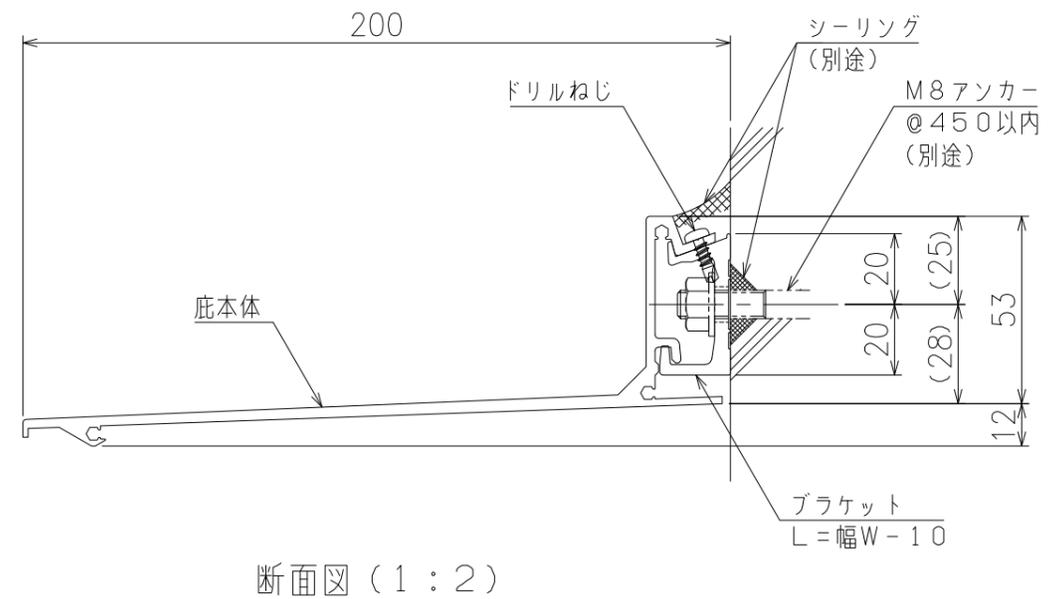
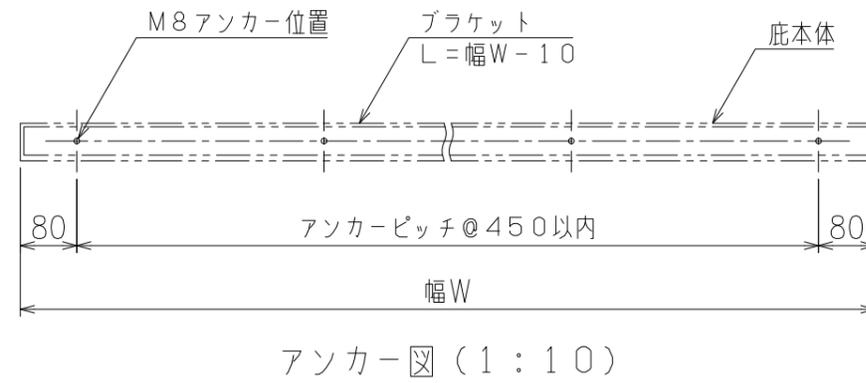
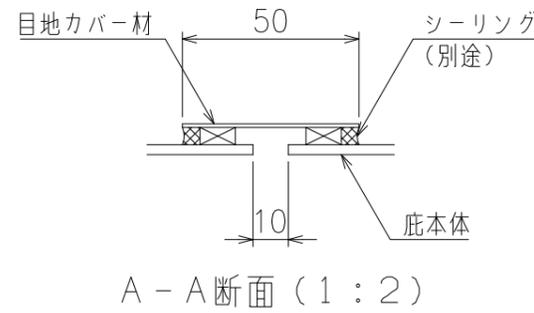
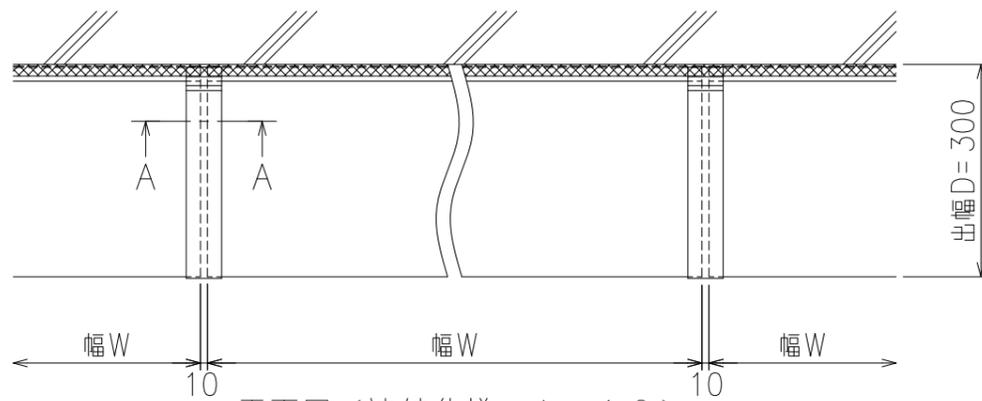


※ 1枚物の最大W寸法は、
3500mm

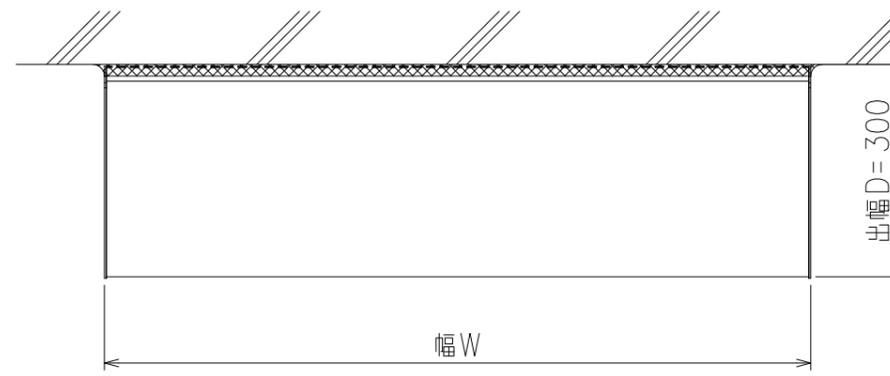


参考寸法図

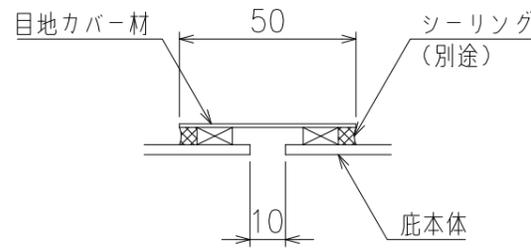
品目名称	アルミ製底 RSバイザー RS-MS20F型 (ブラケット通し仕様)	工事名称		図面		図番	80-001786-00-3A	頁	/
図面名称	平面図・断面図・アンカー図		日付	2017-03-27	尺度	1:2 / 1:10			



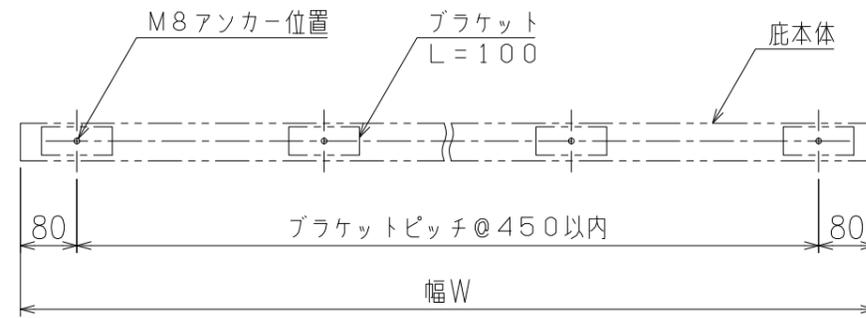
平面図（連結仕様 1 : 10）



平面図（単独仕様 1 : 10）



A - A断面 (1 : 2)

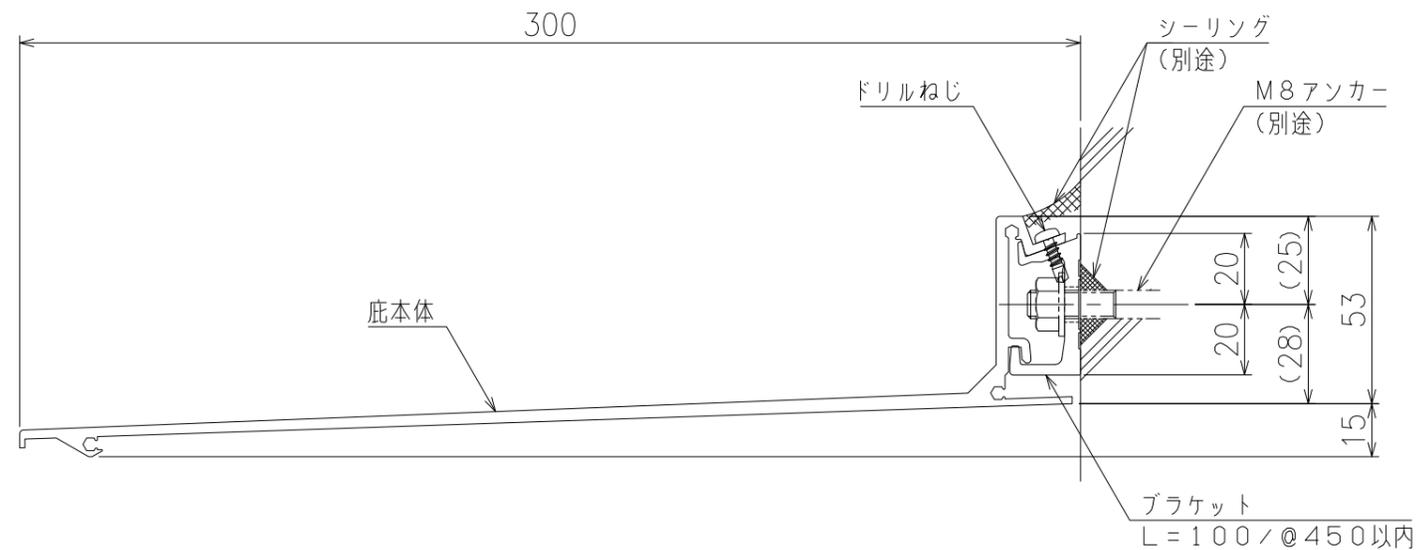


アンカー図 (1 : 10)

■ ブラケット数量

幅W	ブラケット数
800	3
1100	4
1400	5
1700	5
2000	6
2300	7
2600	7
2900	8
3200	9
3500	9

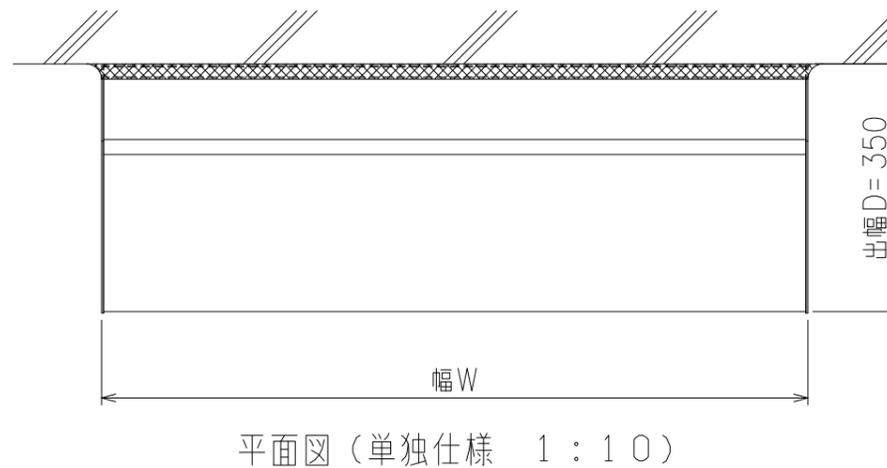
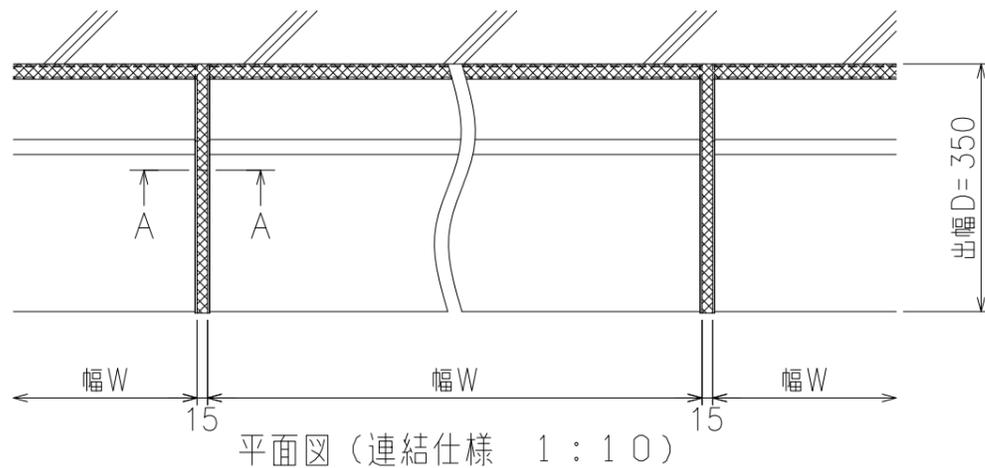
※ 1枚物の最大W寸法は、
3500mm



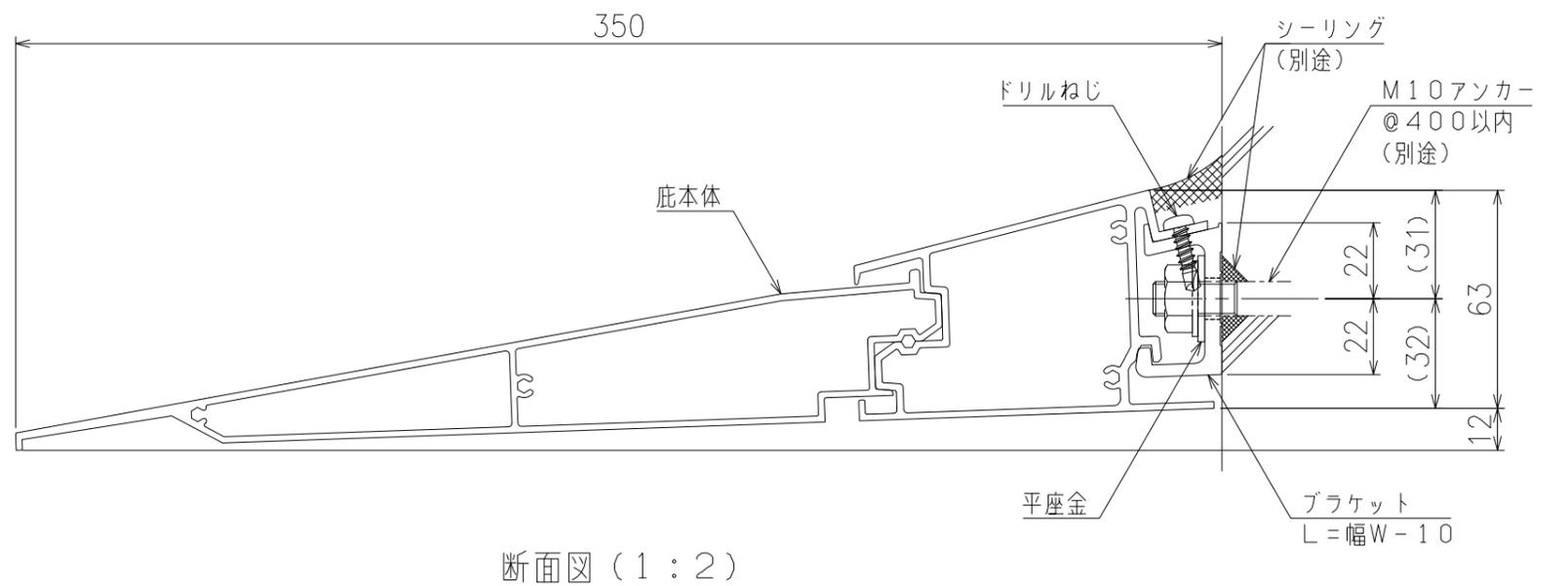
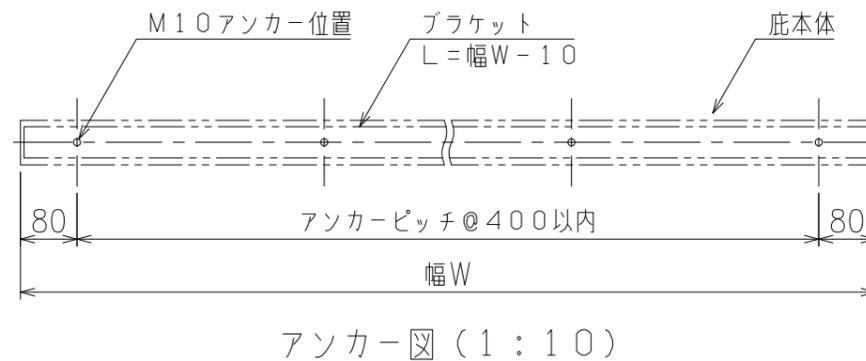
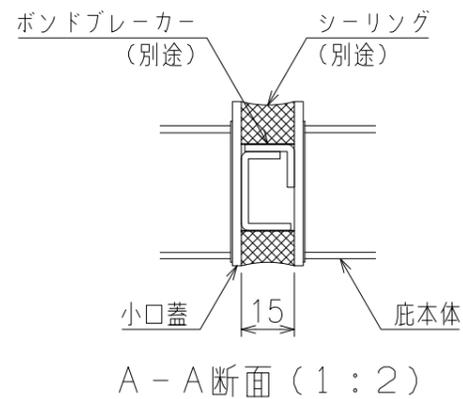
断面図 (1 : 2)

参考寸法図

品目名称	アルミ製底 RSバイザー RS-MS30P型 (ブラケットピース仕様)	工事名称								
図面名称	平面図・断面図・アンカー図	日付	2017-03-27	尺度	1 : 2 / 1 : 10	図番	80-001734-00-3B	頁	/	

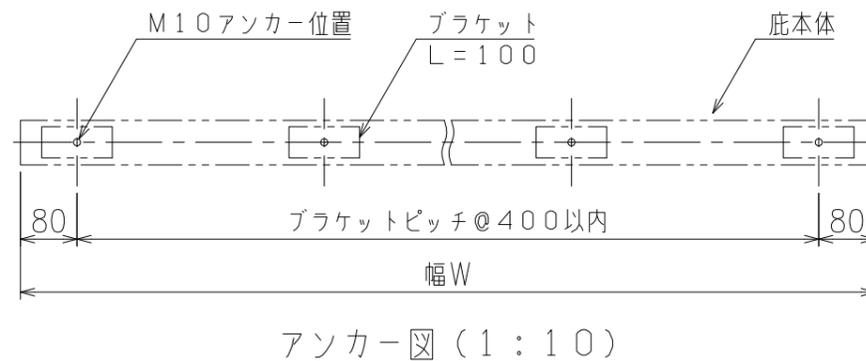
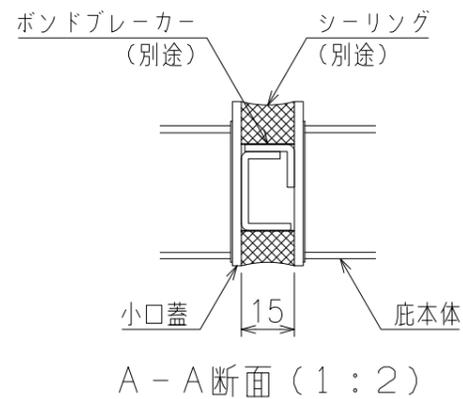
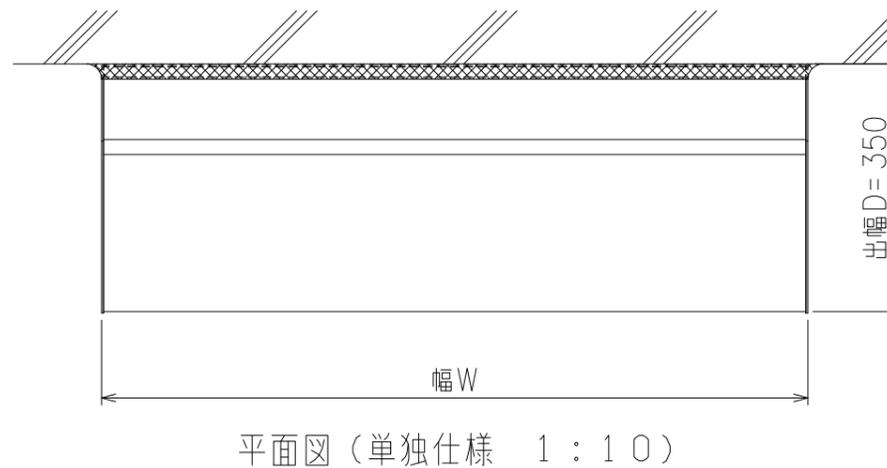
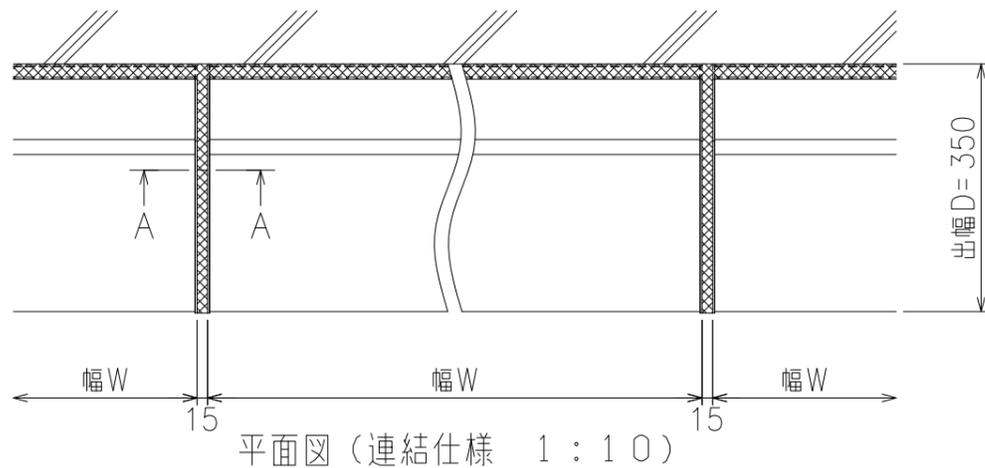


※ 1枚物の最大W寸法は、
3200mm



参考寸法図

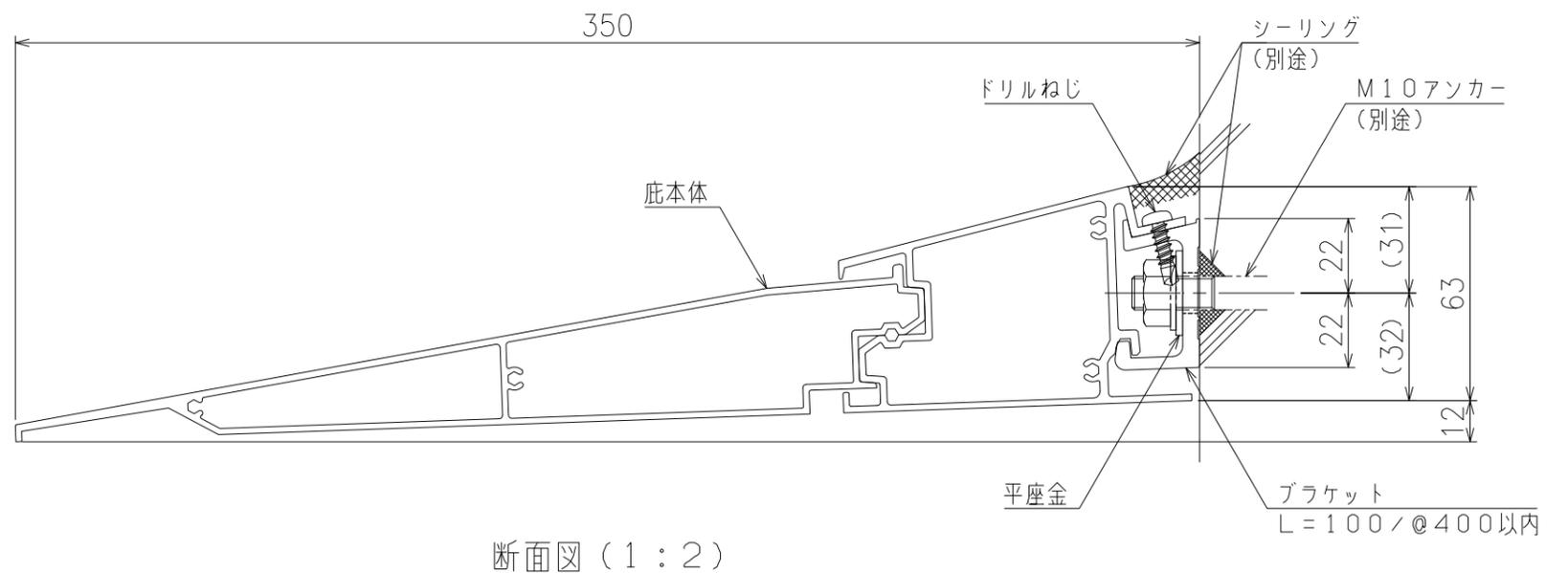
品目名称	アルミ製底 RSバイザー RS-MS35F型 (ブラケット通し仕様)	工事名称		図面名称	平面図・断面図・アンカー図	日付	2017-03-27	尺度	1:2 / 1:10	図番	80-001782-00-3B	頁	/
------	------------------------------------	------	--	------	---------------	----	------------	----	------------	----	-----------------	---	---



■ ブラケット数量

幅W	ブラケット数
800	3
1100	4
1400	5
1700	5
2000	6
2300	7
2600	8
2900	8
3200	9

※ 1枚物の最大W寸法は、3200mm



参考寸法図

品目名称	アルミ製底 RSバイザー RS-MS35P型 (ブラケットピース仕様)	工事名称							
図面名称	平面図・断面図・アンカー図	日付	2017-03-27	尺度	1:2 / 1:10	図番	80-001732-00-30	頁	/

アルミニウム製 庇

(RSバイザー RS-MS30、20型)

施 工 要 領

確実な施工を行い、製品の安全を確保するため、施工前にこの「施工要領」を必ずお読みください。

— 目 次 —

施工上の注意点	1
アンカー取付要領	2
施工手順	2~3
庇本体が2枚以上連続する場合	4



施工上の注意点

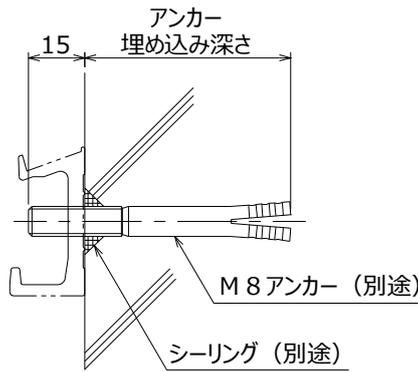
- 転落や破損の恐れがありますので、庇に乗ったりぶらさがったりしないでください。
- ねじやボルトは全て確実に締めてください。
- 施工後、ねじやボルトにゆるみやガタつき、その他使用上危険な箇所等がないか確認してください。
- 正規の施工方法以外での取付けや、改造等を行わないでください。

※改良のため、予告なく製品の一部を変更する場合があります。御了承ください。

■ アンカー取付要領

アンカーボルトは、右図のように**取付面から15mm**突き出すようにしてください。

- ※内部への浸水を防ぐためにアンカーボルトの周りに防水シールを施してください。
- ※アンカーの埋込み深さは使用するアンカーの規定寸法を守って取り付けてください。
- ※あと施工アンカーによる施工はRC 躯体のみです。

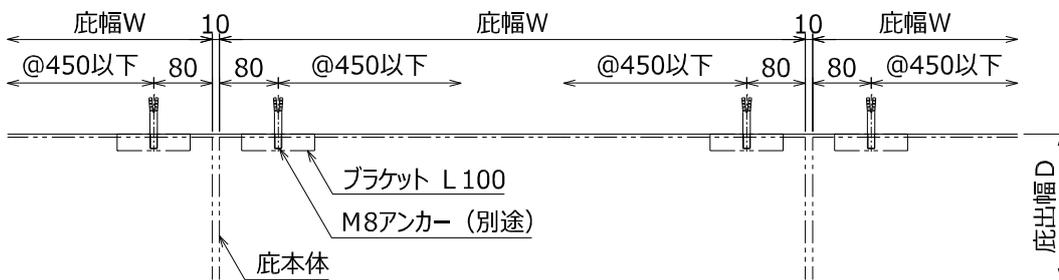


⚠ 注意

アンカーの埋込み深さは、仕上モルタルやタイル等の仕上材の厚みを含まず、躯体部分に確実に入るように入ってください。

アンカー取付位置

アンカーの取付位置は、底本体幅Wのうち、**両端 80 mm、取付ピッチ 450 mm以内**にて取り付けてください。



⚠ 注意

ブラケットが通し物の場合は、底1枚毎にブラケットが1本つきます。アンカー取付位置は付属の「アンカー図」を参照してください。

■ 施工手順

M8 アンカー (別途)

1

アンカー図に基づき墨出しを行い、M8 アンカー (別途) を取り付けます。

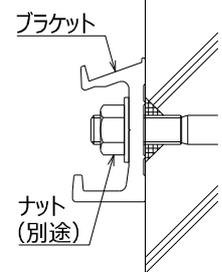
【用意するもの】 M8 アンカー (別途)

2

ブラケットを取り付けます。取付面の通りが出ていない場合は、ブラケットの裏側にスペーサー等 (別途) を入れて調整してください。

※**ブラケット取付面の通りが出ないと底本体が取り付けられない場合があります。ブラケットのレベル出しは確実に行ってください。**

【用意するもの】 ブラケット、ナット (別途)



3

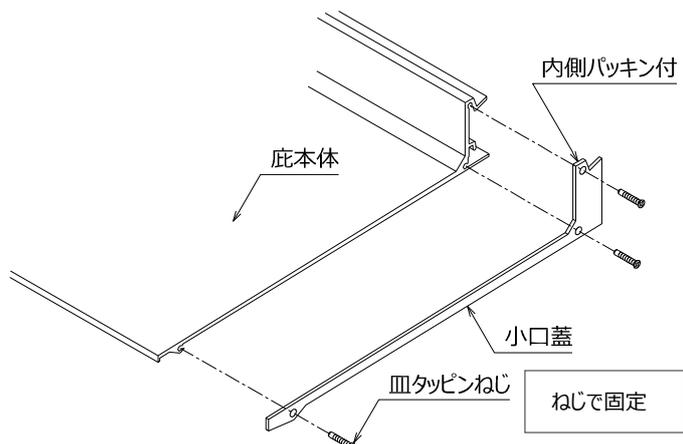
底本体に小口蓋を取り付けます。止水パッキン材が付いている面を底本体に接するようにセットし、付属の皿タッピンねじで固定します。

【用意するもの】

小口蓋、皿タッピンねじ

⚠ 注意

小口蓋は確実に取付けてください。



4

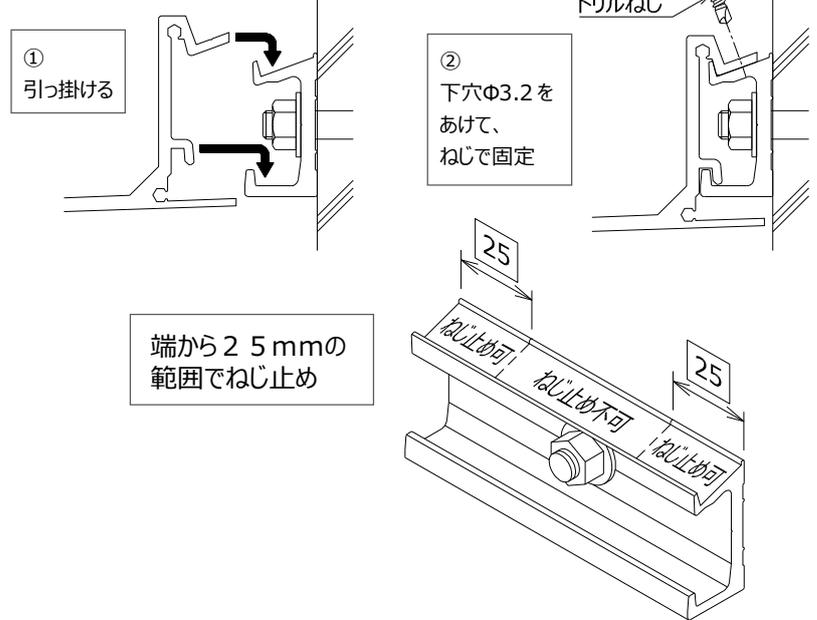
ブラケットに底を取り付けます。

- ① 底をブラケットに引っ掛けます。
 - ② 下穴をあけて、付属のドリルねじで底とブラケットを固定します。
- ※ブラケット端部から 25 mm の範囲で締結してください。
- ※ブラケットが通し物の場合は全てのアンカー近辺で締結してください。
- ※下穴の目安はΦ3.2 です。

【用意するもの】 底、ドリルねじ

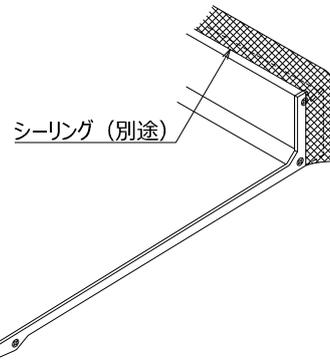
注意

底がブラケットにしっかりと引っ掛かり、ドリルねじで確実に固定されていることを必ず確認してください。底がブラケットから外れると事故の原因となります。



5

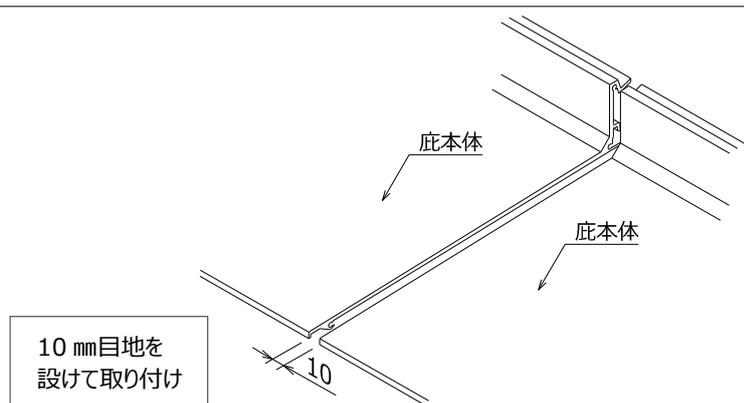
底を取り付けた後、底上部・小口蓋端部に防水シール（別途）を施します。



■ 底本体が 2 枚以上連続する場合

1

底本体を 10 mm の目地を設けて取り付けます。



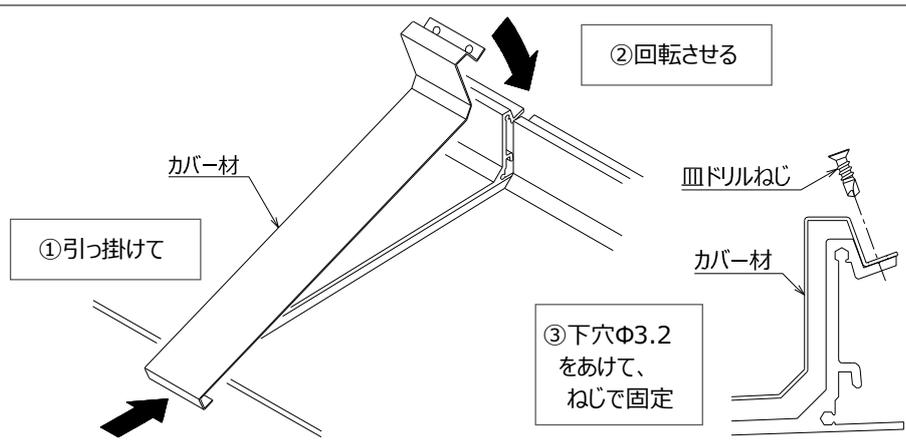
2

目地部にカバー材を取り付けます。

- ① カバー材を先端側に引っ掛けて
 - ② 回転させます
 - ③ 下穴をあけて、付属の皿ドリルねじでカバー材を固定します。
- ※下穴の目安はΦ3.2 です。

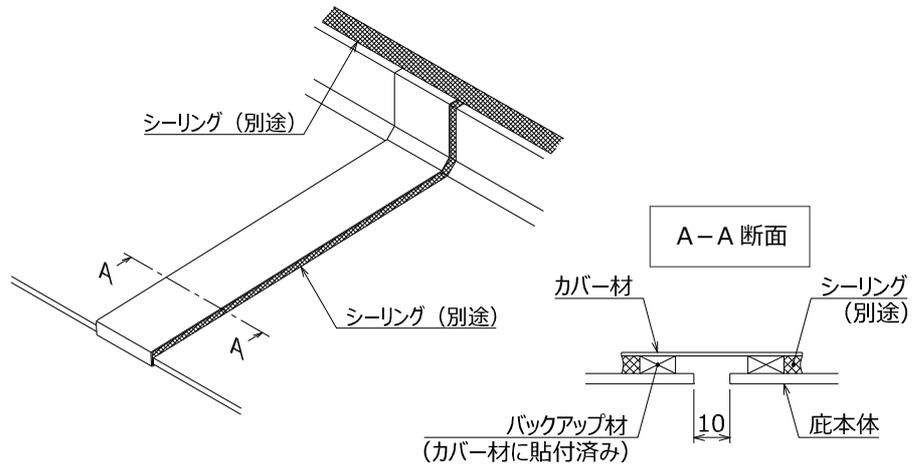
【用意するもの】

カバー材、皿ドリルねじ



3

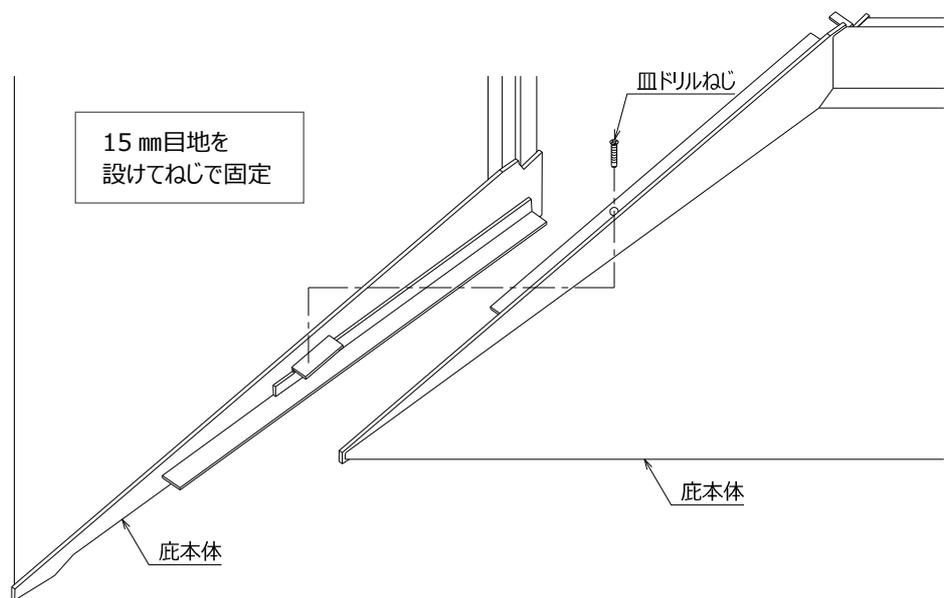
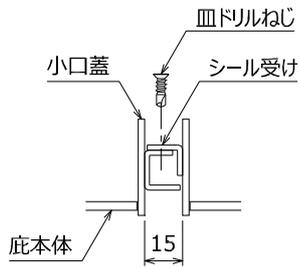
カバー材を取り付けた後、
カバー材部・庇上部・小口蓋端部に
防水シール（別途）を施します。



■ コーナーがある場合

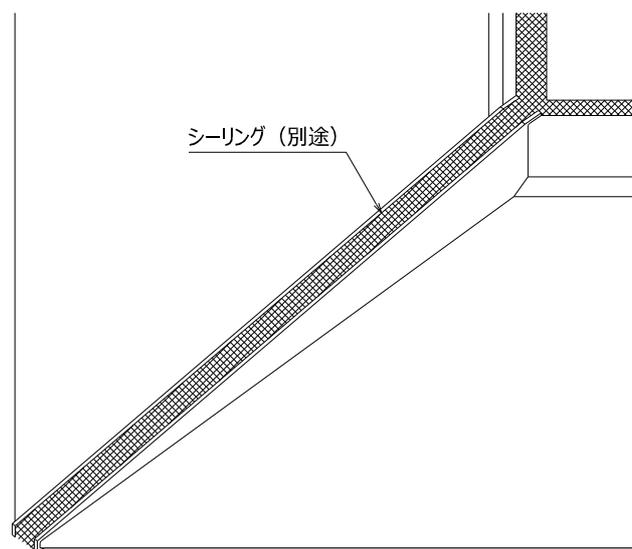
1

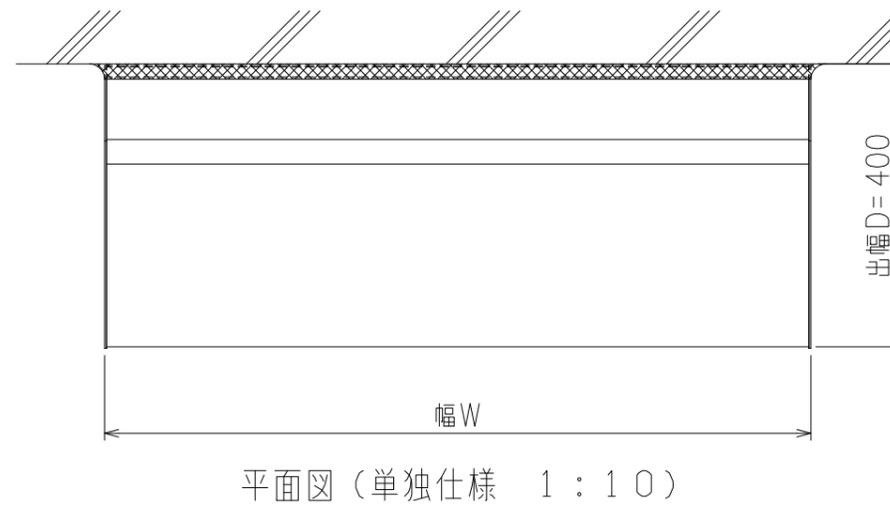
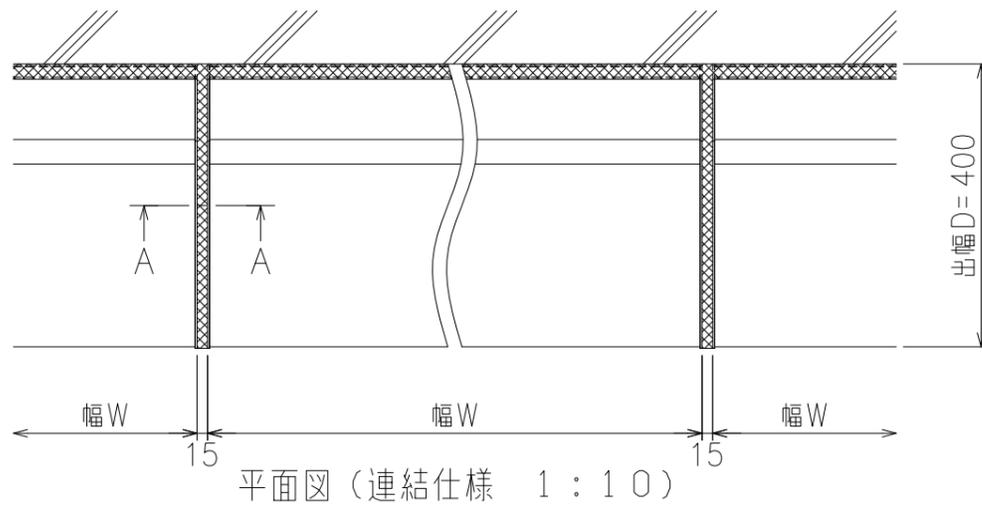
ブラケットに庇を取り付けます。
庇本体を 15 mmの目地を
設けてシール受けを付属の
皿ドリルねじで固定します。



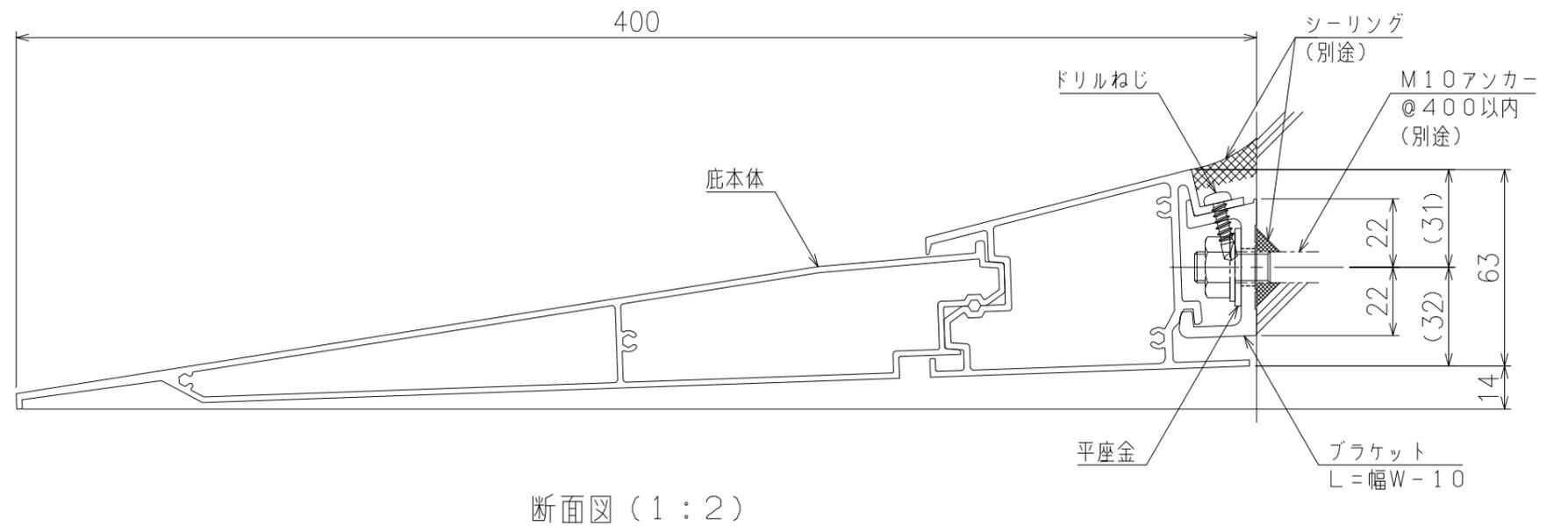
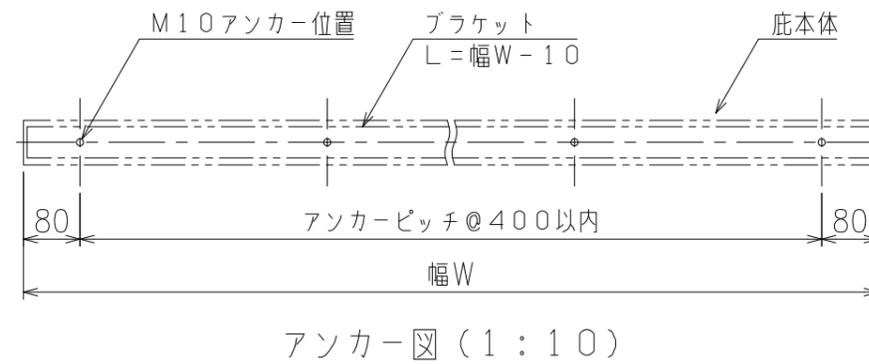
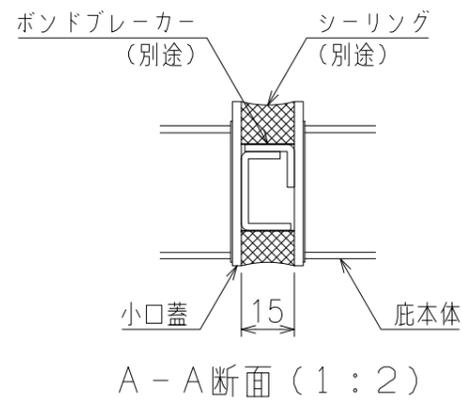
2

庇を取り付けた後、目地
隙間・庇上部に防水シール
（別途）を施します。



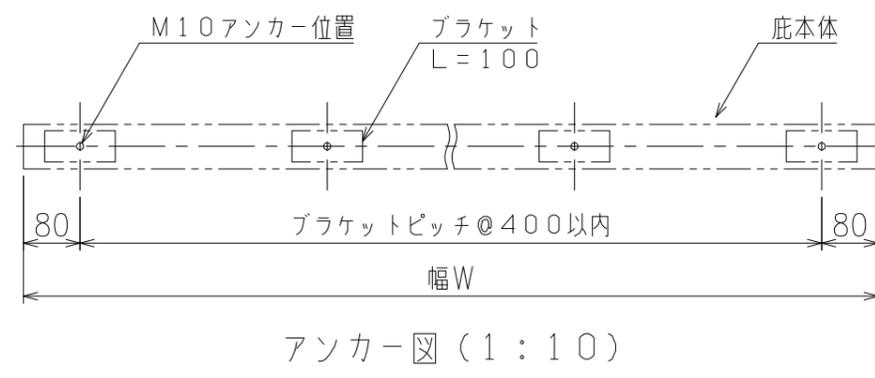
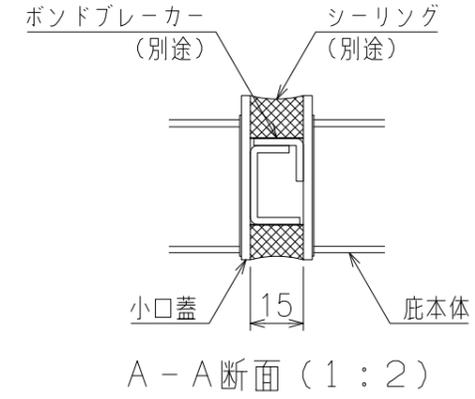
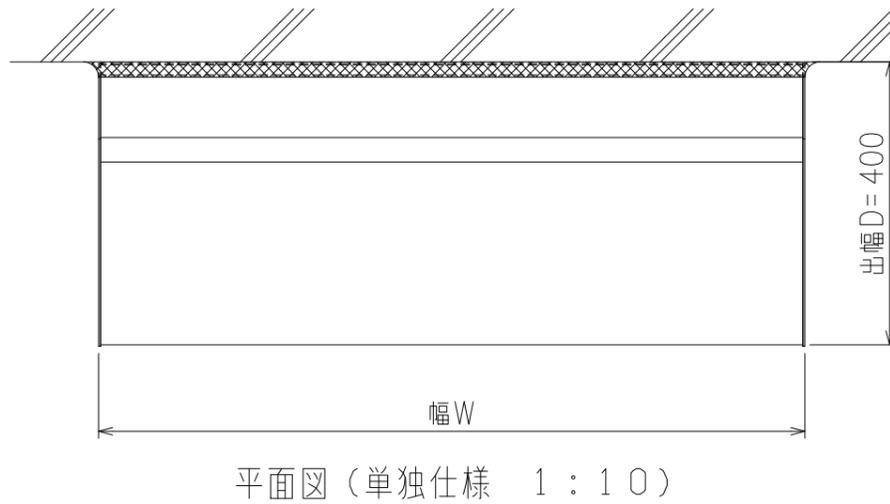
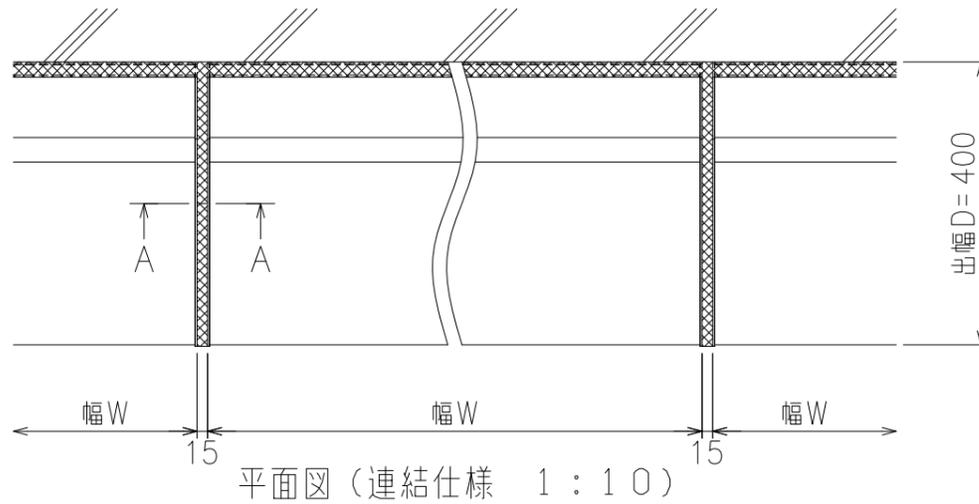


※ 1枚物の最大W寸法は、
3200mm



参考寸法図

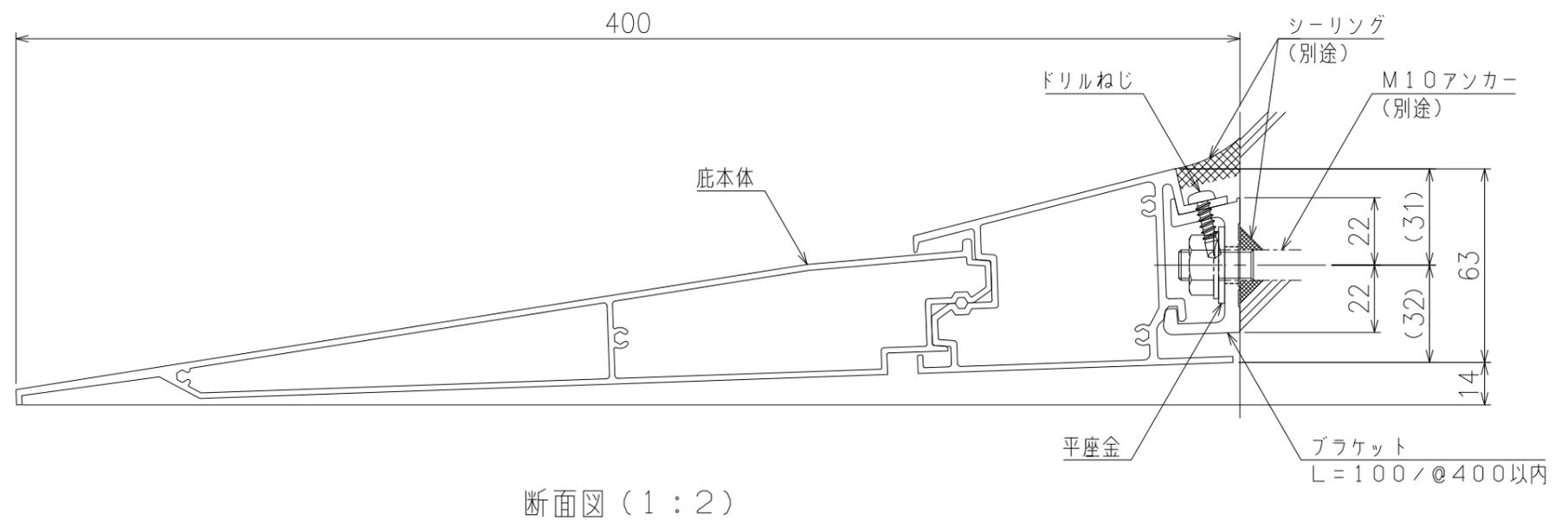
品目名称	アルミ製底 RSバイザー RS-MS40F型 (ブラケット通し仕様)	工事名称								
図面名称	平面図・断面図・アンカー図	日付	2017-03-27	尺度	1 : 2 / 1 : 10	図番	80-001780-00-3B	頁	/	



■ ブラケット数量

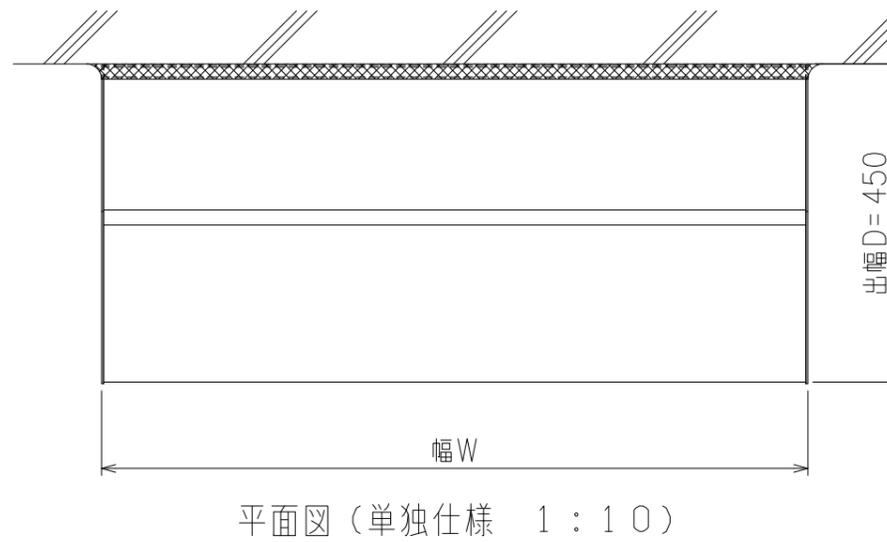
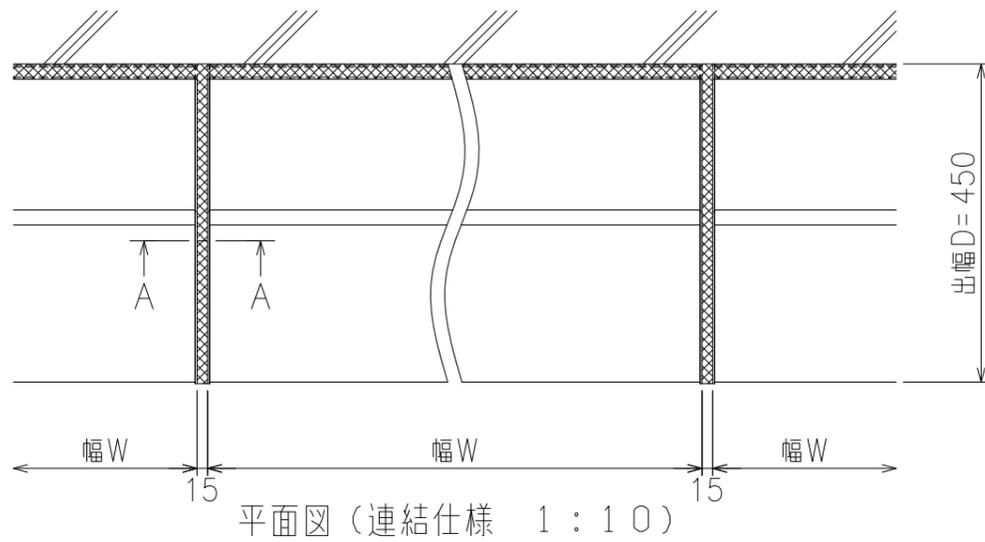
幅W	ブラケット数
800	3
1100	4
1400	5
1700	5
2000	6
2300	7
2600	8
2900	8
3200	9

※ 1枚物の最大W寸法は、3200mm

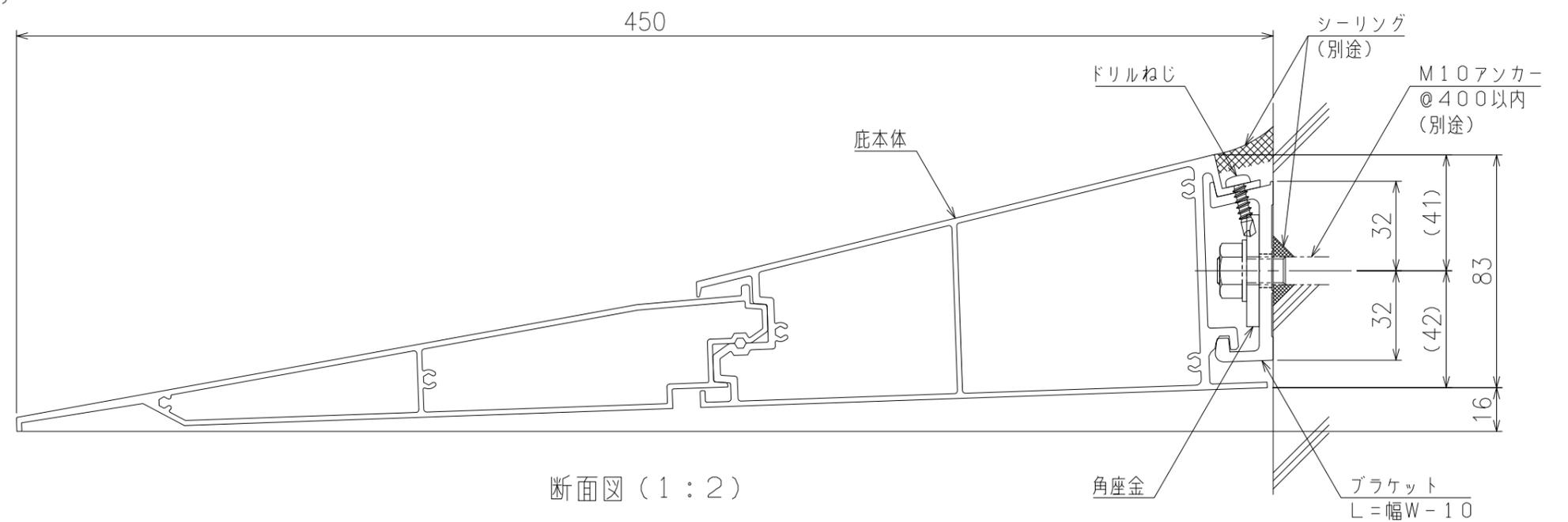
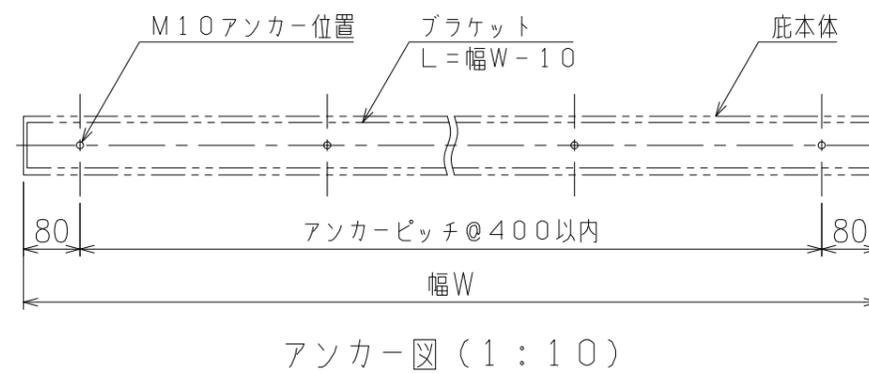
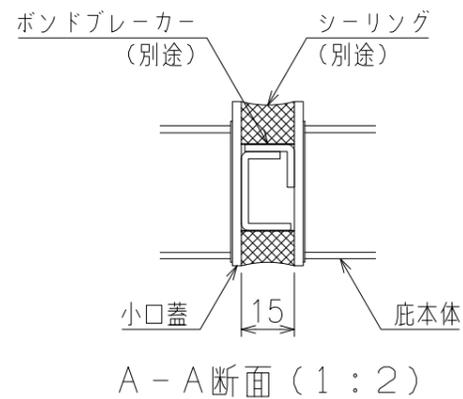


参考寸法図

品目名称	アルミ製底 RSバイザー RS-MS40P型 (ブラケットピース仕様)	工事名称								
図面名称	平面図・断面図・アンカー図	日付	2017-03-27	尺度	1:2 / 1:10	図番	80-001730-00-30	頁	/	

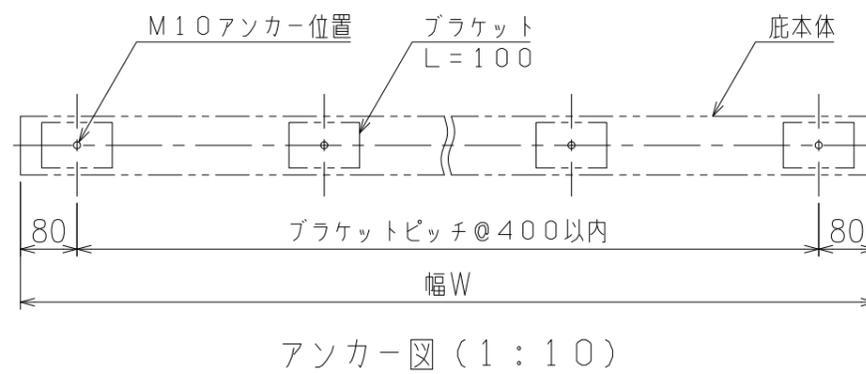
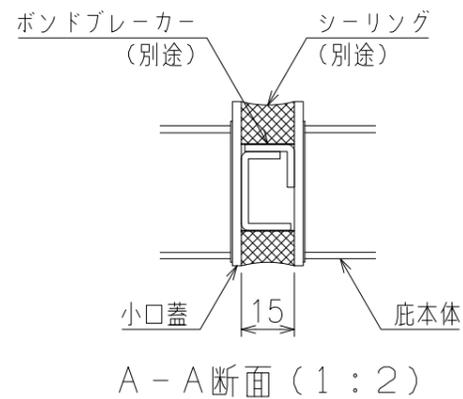
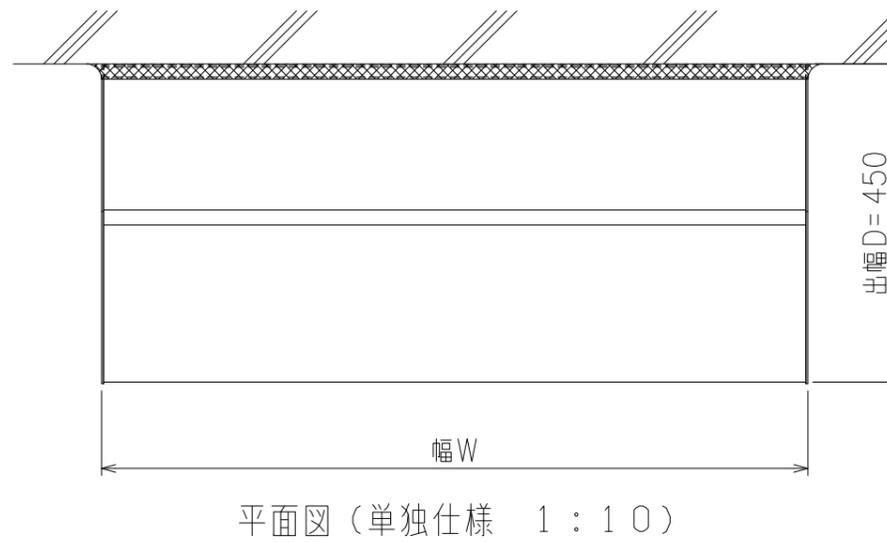
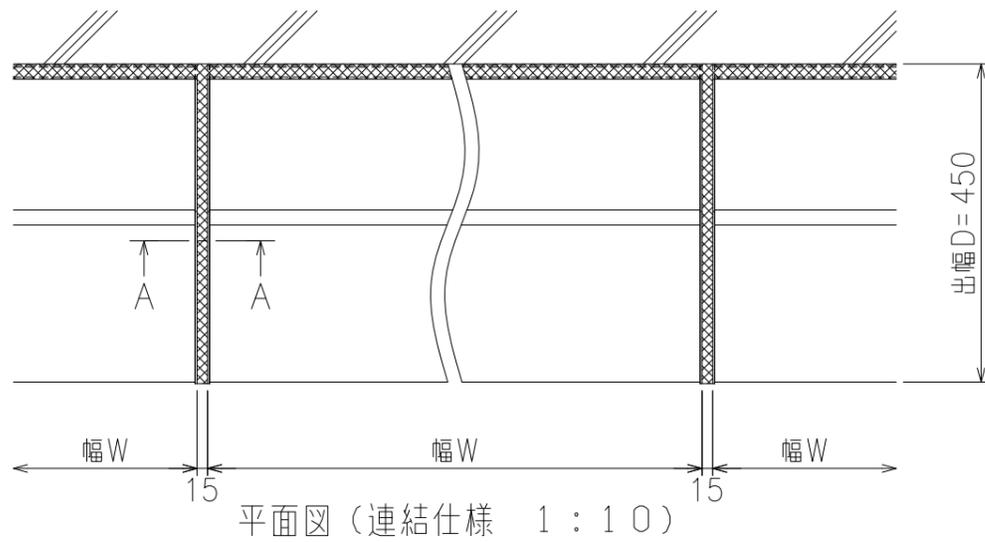


※ 1枚物の最大W寸法は、
3200mm



参考寸法図

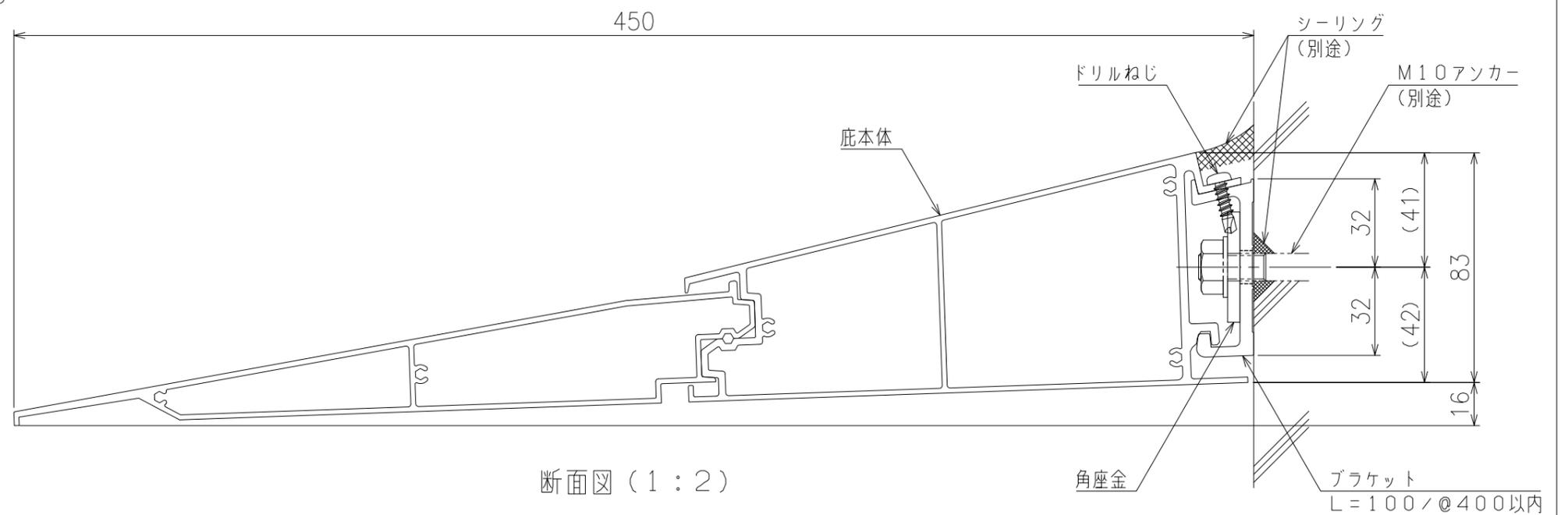
品目名称	アルミ製底 RSバイザー RS-MS45F型 (ブラケット通し仕様)	工事名称		
図面名称	平面図・断面図・アンカー図	日付	2017-03-27	
		尺度	1 : 2 / 1 : 10	
		図番	80-001778-00-3B	頁 /



■ ブラケット数量

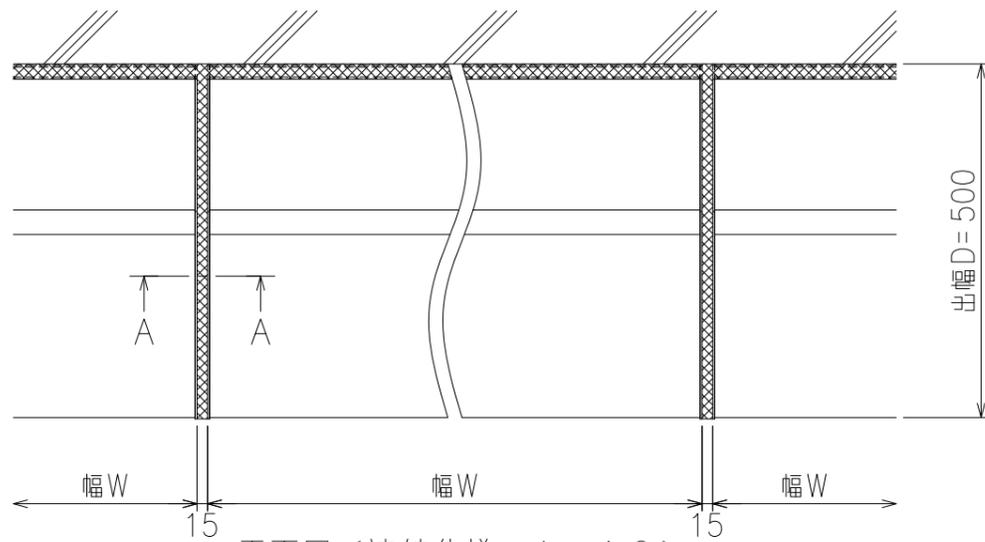
幅W	ブラケット数
800	3
1100	4
1400	5
1700	5
2000	6
2300	7
2600	8
2900	8
3200	9

※ 1枚物の最大W寸法は、
3200mm

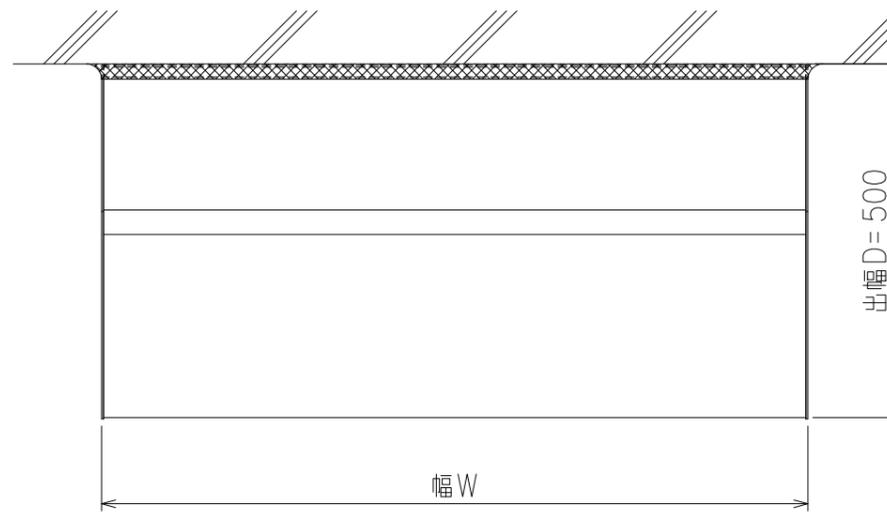


参考寸法図

品目名称	アルミ製底 RSバイザー RS-MS45P型 (ブラケットピース仕様)	工事名称							
図面名称	平面図・断面図・アンカー図	日付	2017-03-27	尺度	1:2 / 1:10	図番	80-001728-00-30	頁	/

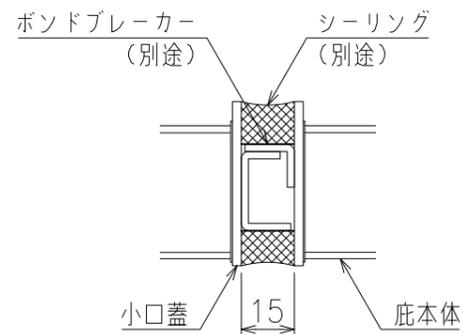


平面図（連結仕様 1 : 10）

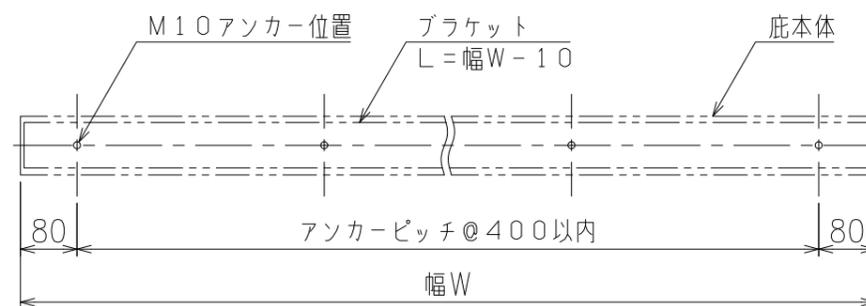


平面図（単独仕様 1 : 10）

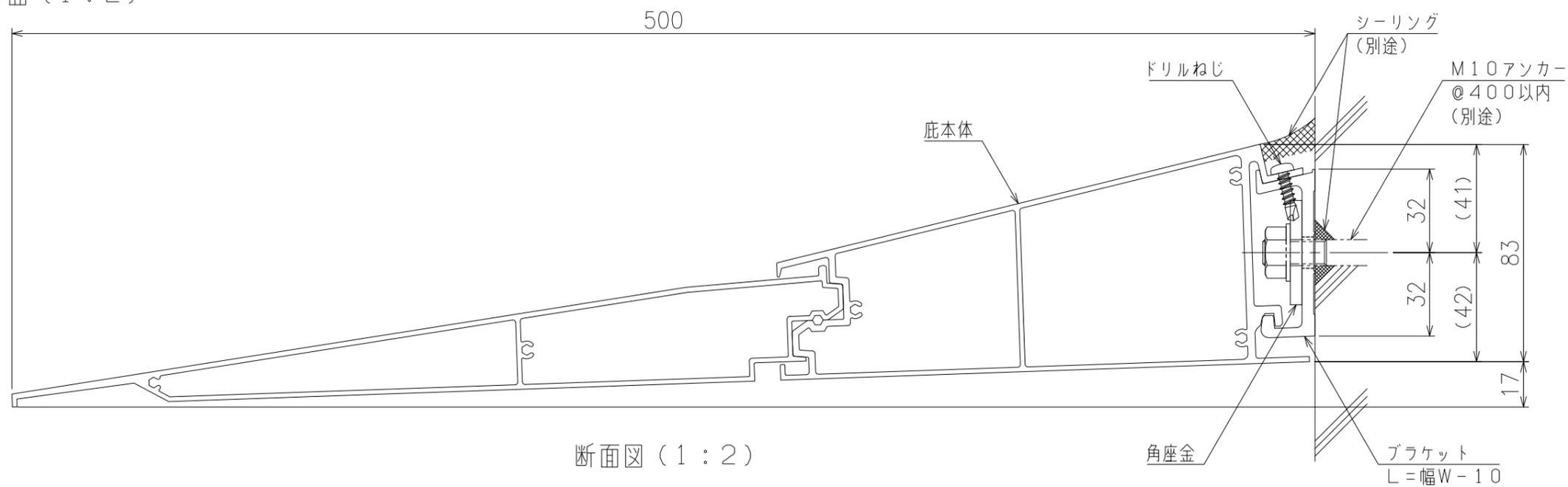
※ 1枚物の最大W寸法は、
3200mm



A-A断面 (1 : 2)



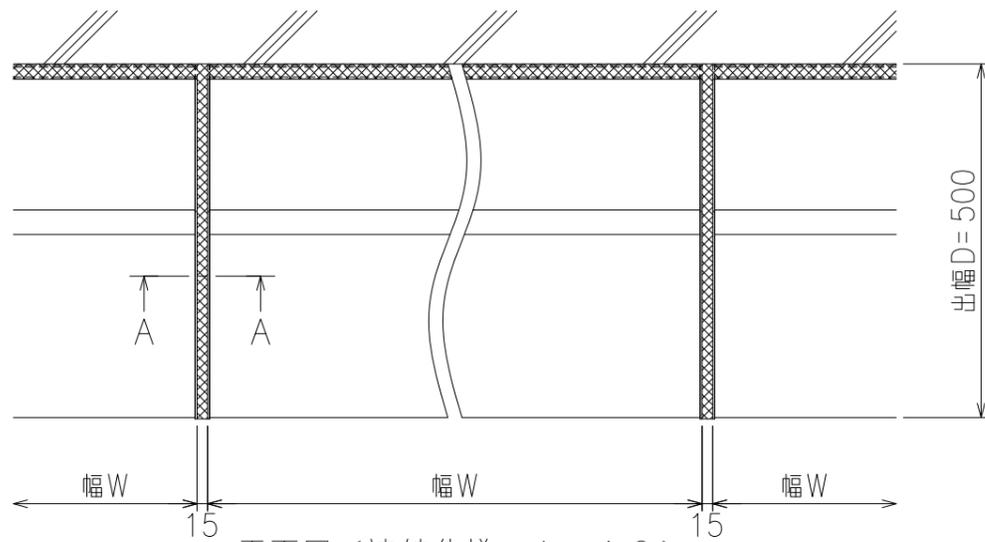
アンカー図 (1 : 10)



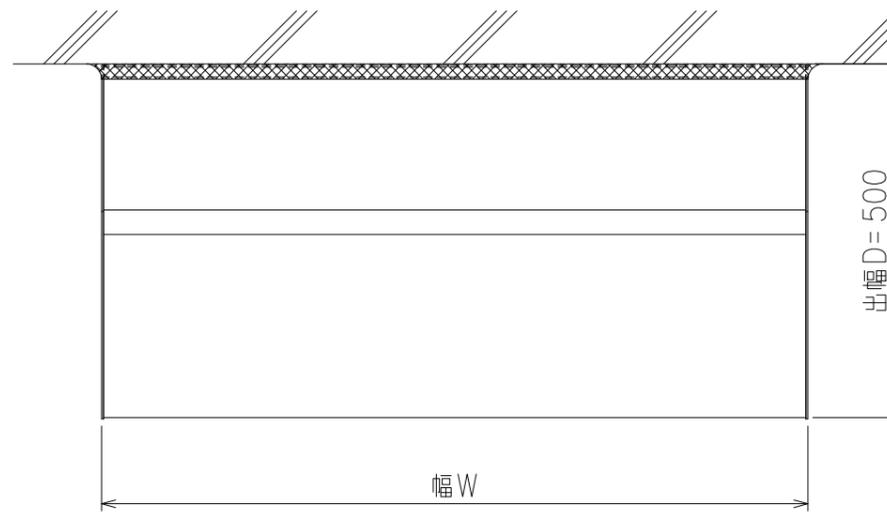
断面図 (1 : 2)

参考寸法図

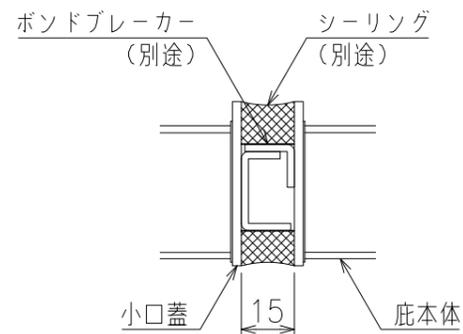
品目名称	アルミ製底 RSバイザー RS-MS50F型 (ブラケット通し仕様)	工事名称								
図面名称	平面図・断面図・アンカー図	日付	2017-03-27	尺度	1 : 2 / 1 : 10	図番	80-001776-00-3B	頁	/	



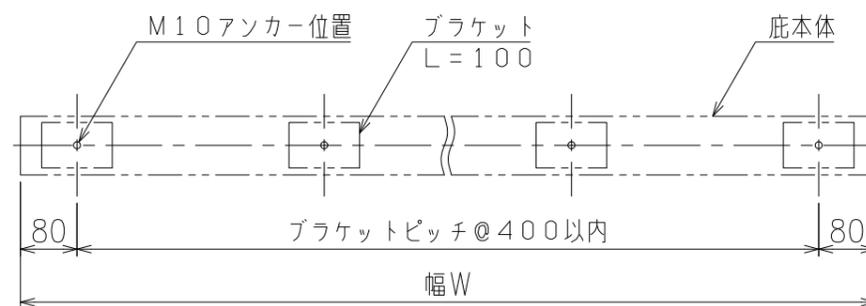
平面図（連結仕様 1 : 10）



平面図（単独仕様 1 : 10）



A - A断面 (1 : 2)

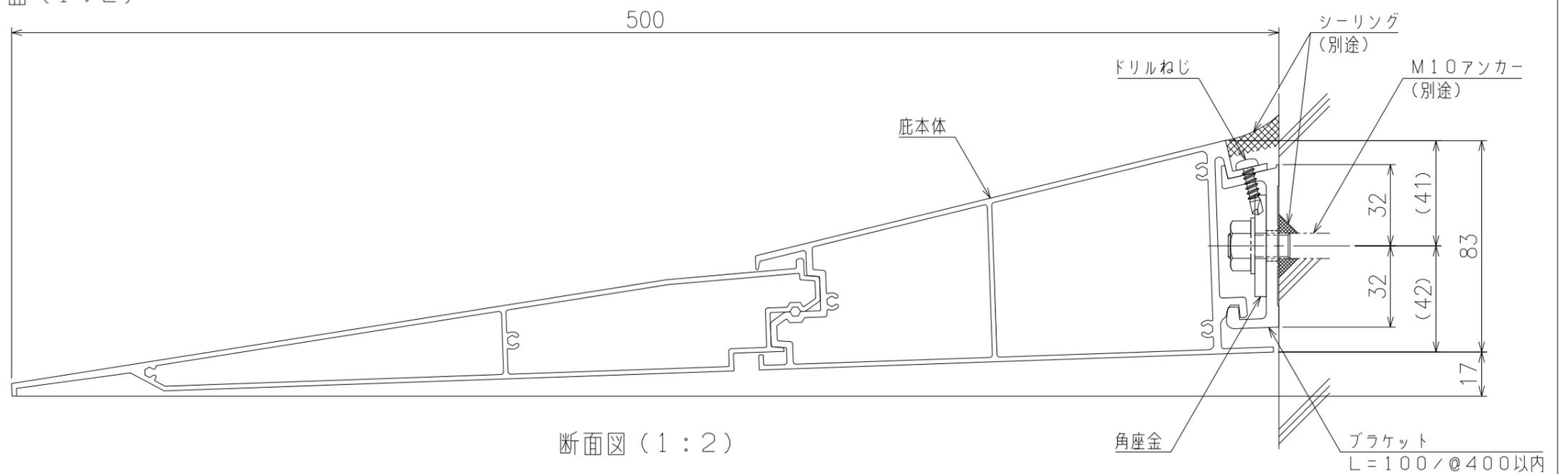


アンカー図 (1 : 10)

■ ブラケット数量

幅W	ブラケット数
800	3
1100	4
1400	5
1700	5
2000	6
2300	7
2600	8
2900	8
3200	9

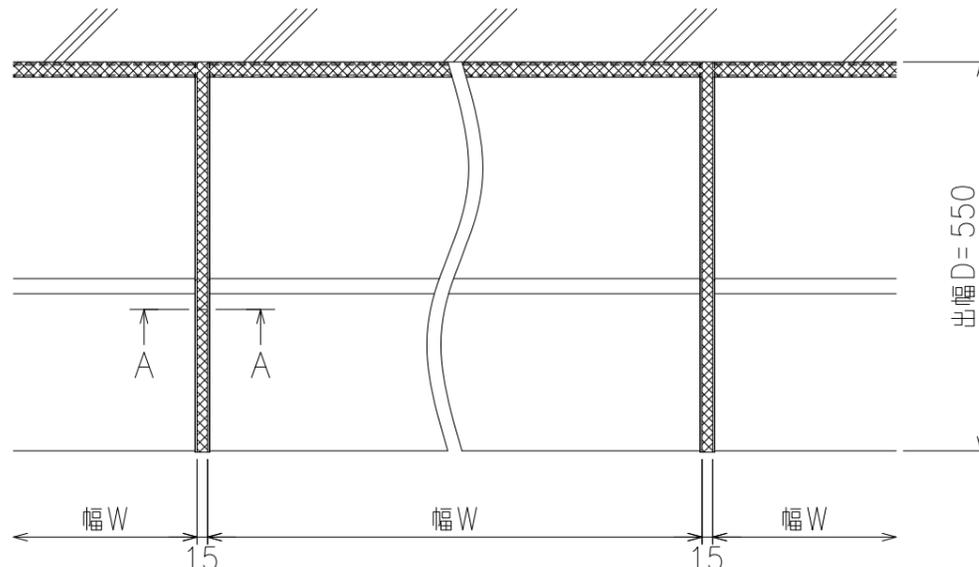
※ 1枚物の最大W寸法は、
3200mm



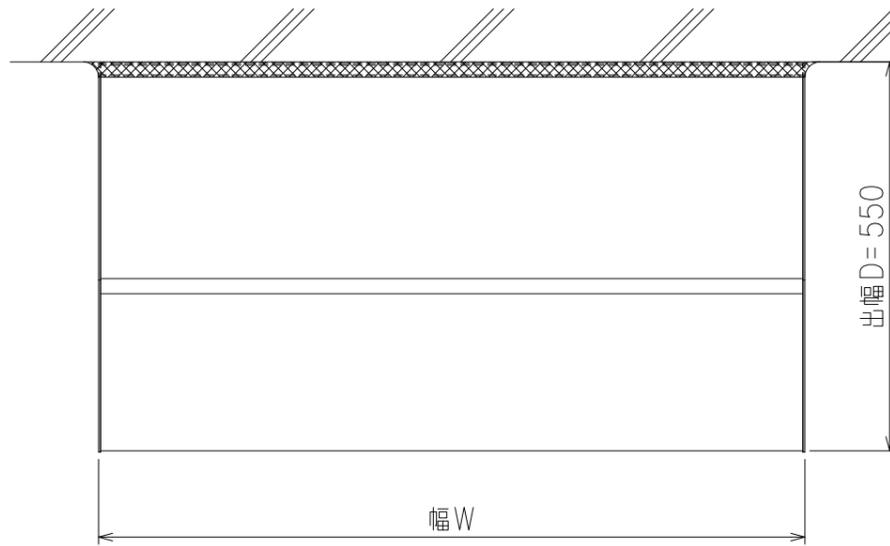
断面図 (1 : 2)

参考寸法図

品目名称	アルミ製底 RSバイザー RS-MS50P型 (ブラケットピース仕様)	工事名称		図面名称	平面図・断面図・アンカー図	日付	2017-03-27	尺度	1 : 2 / 1 : 10	図番	80-001726-00-30	頁	/
------	-------------------------------------	------	--	------	---------------	----	------------	----	----------------	----	-----------------	---	---

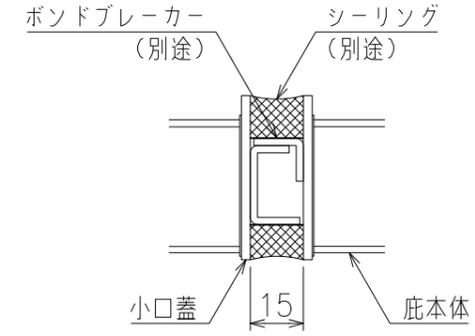


平面図（連結仕様 1 : 10）

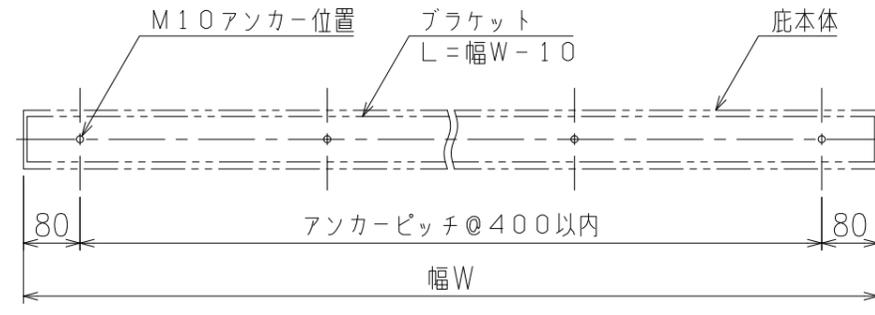


平面図（単独仕様 1 : 10）

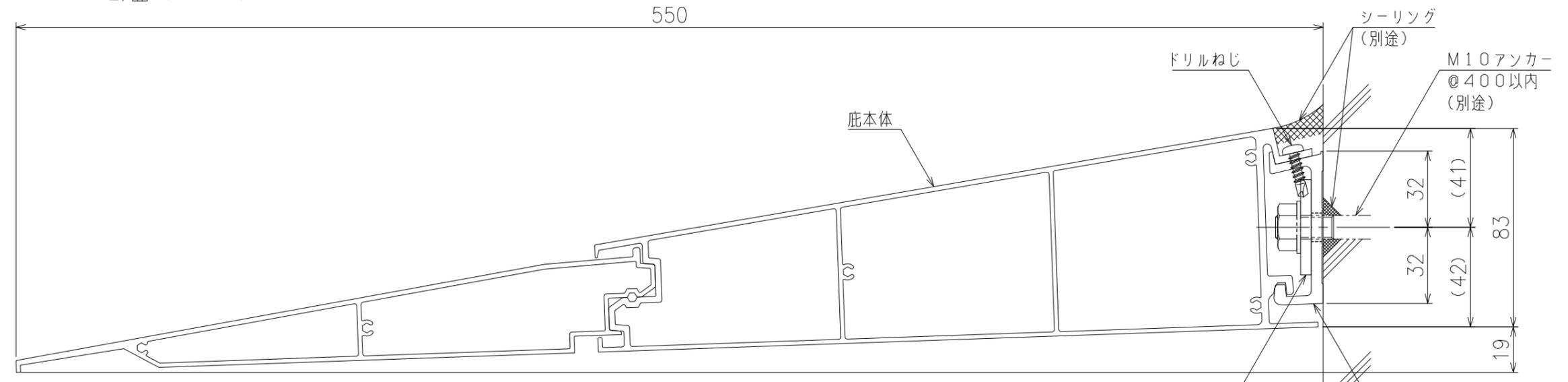
※ 1枚物の最大W寸法は、
3200mm



A-A断面 (1 : 2)



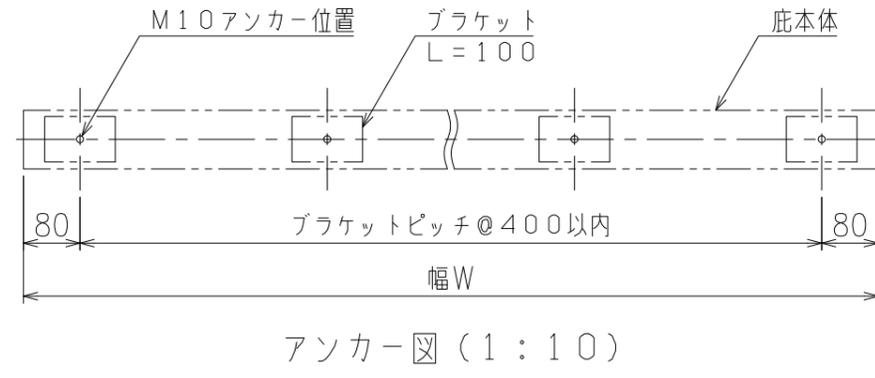
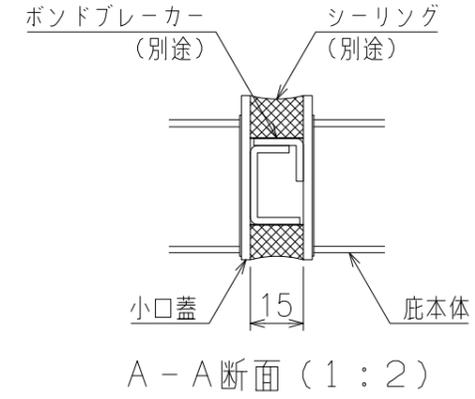
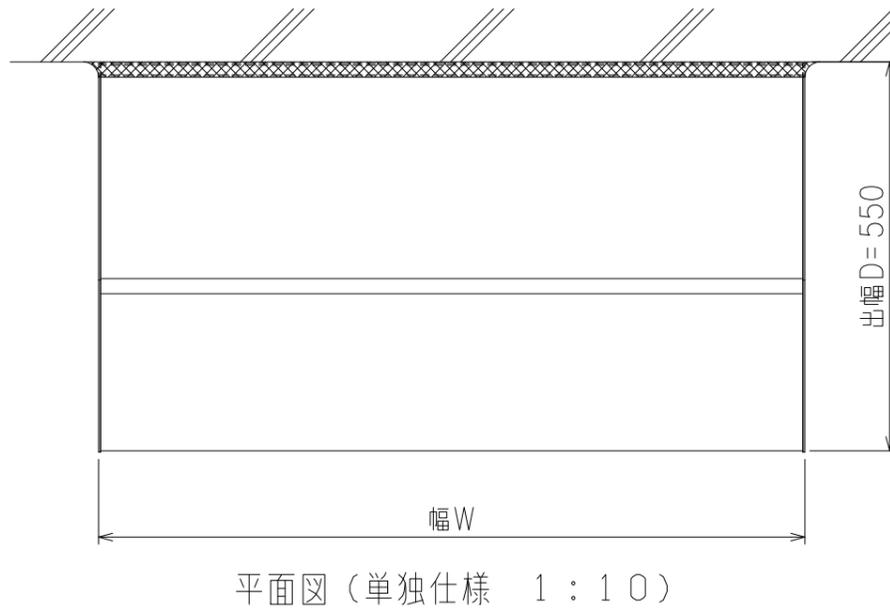
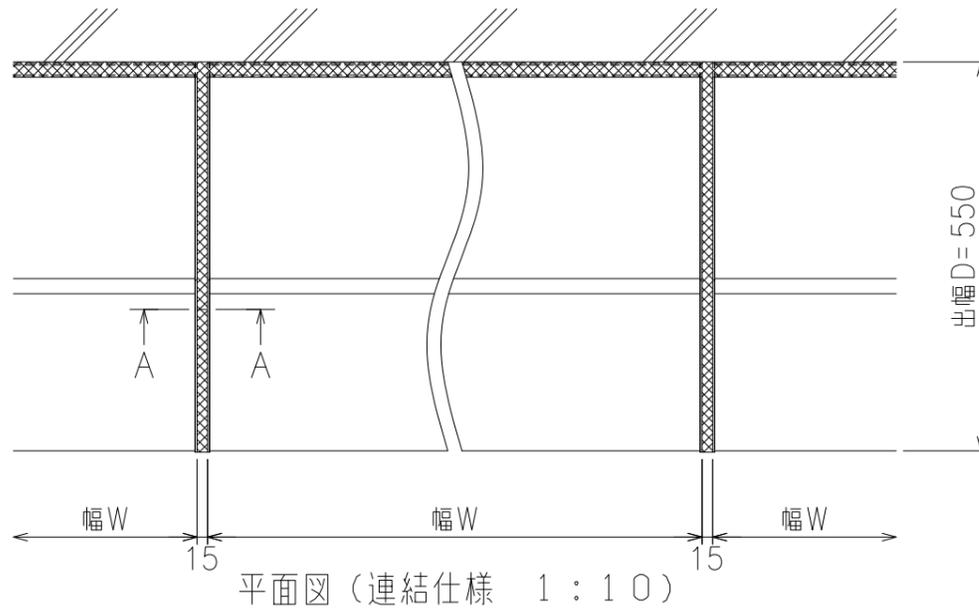
アンカー図 (1 : 10)



断面図 (1 : 2)

参考寸法図

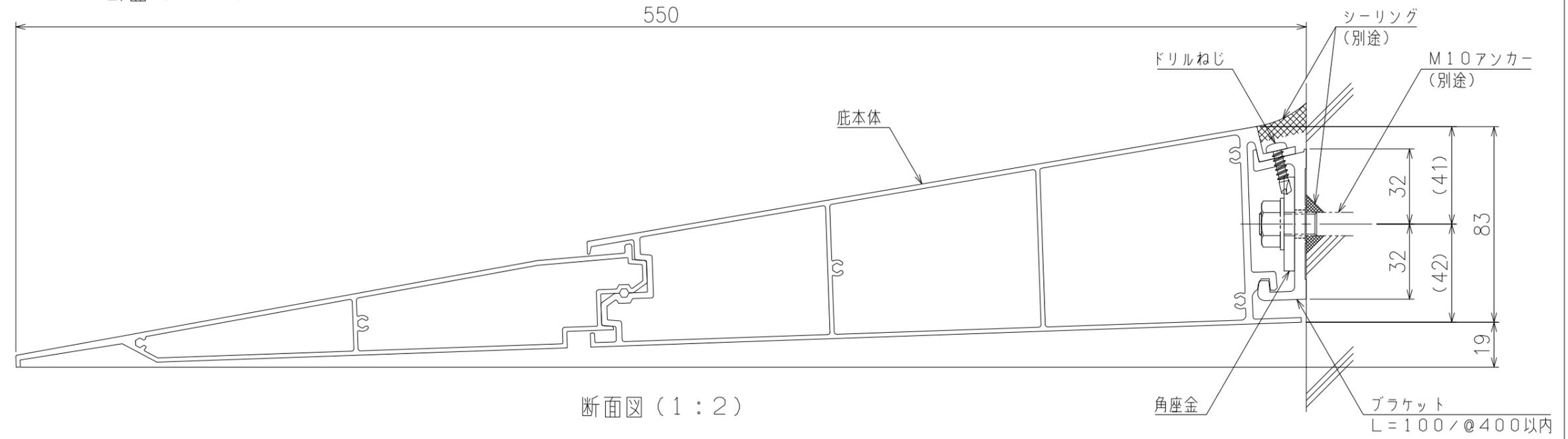
品目名称	アルミ製底 RSバイザー RS-MS55F型 (ブラケット通し仕様)	工事名称		図面	
図面名称	平面図・断面図・アンカー図	日付	2017-03-27	尺度	1 : 2 / 1 : 10
				図番	80-001774-00-3B
				頁	/



■ ブラケット数量

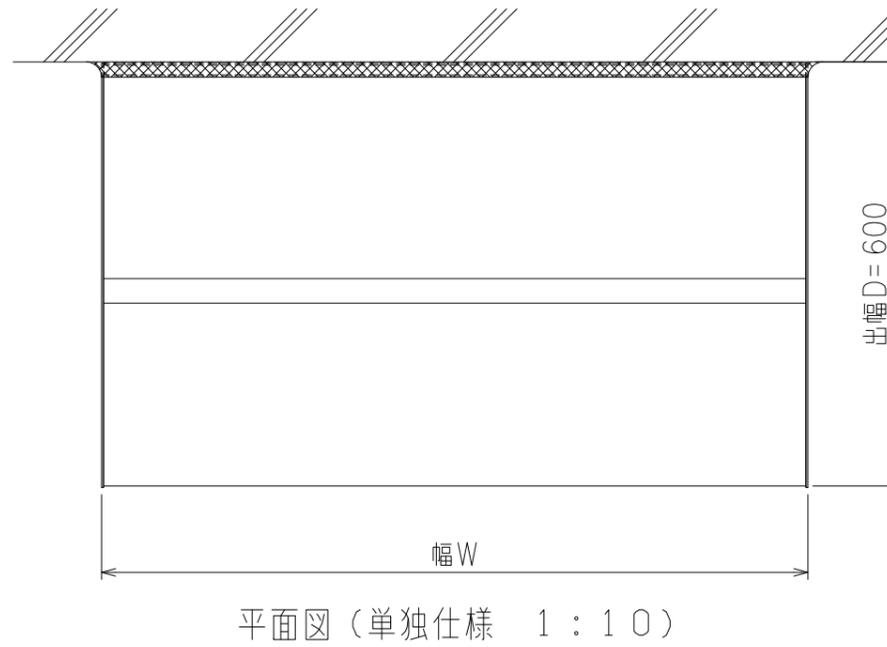
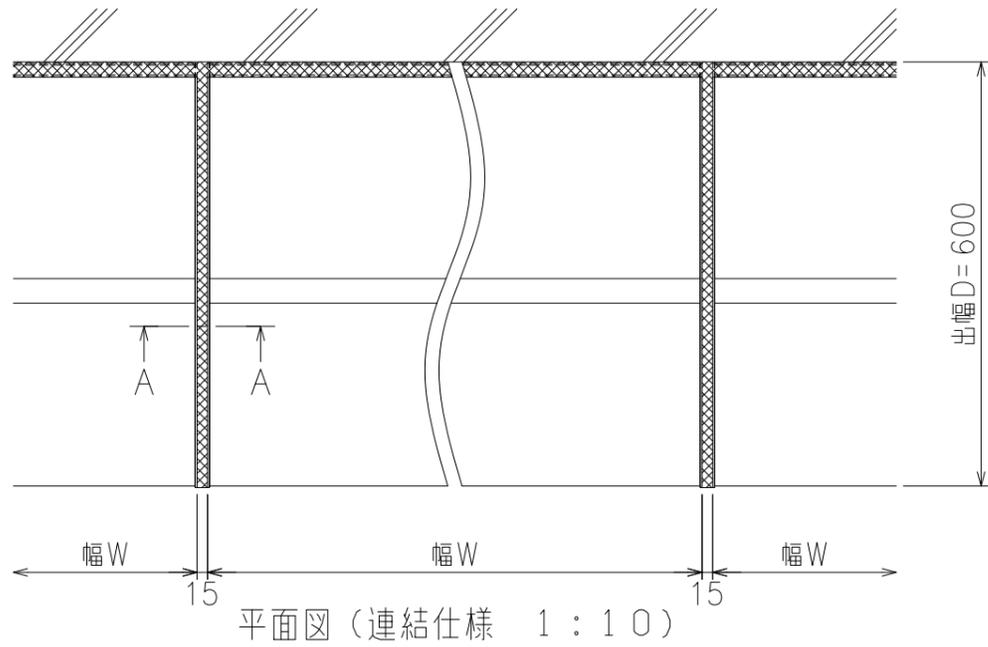
幅W	ブラケット数
800	3
1100	4
1400	5
1700	5
2000	6
2300	7
2600	8
2900	8
3200	9

※ 1枚物の最大W寸法は、3200mm



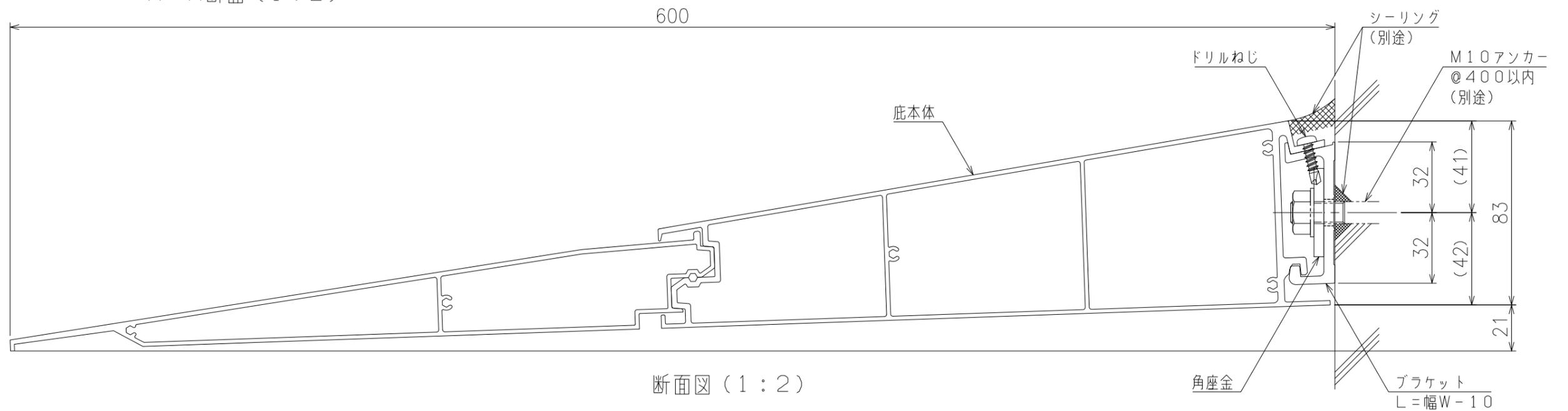
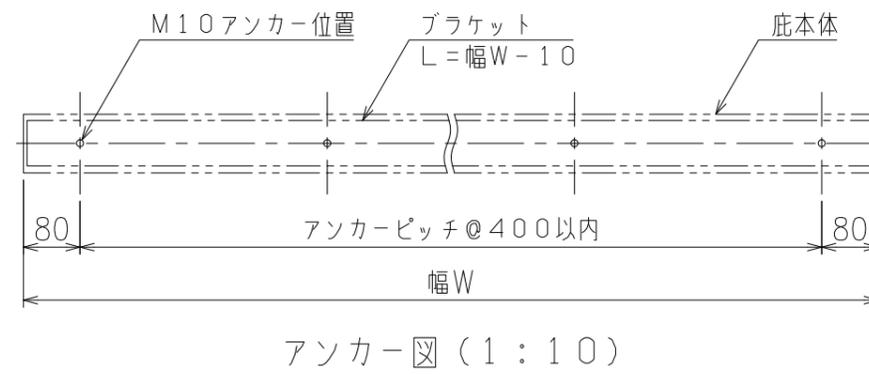
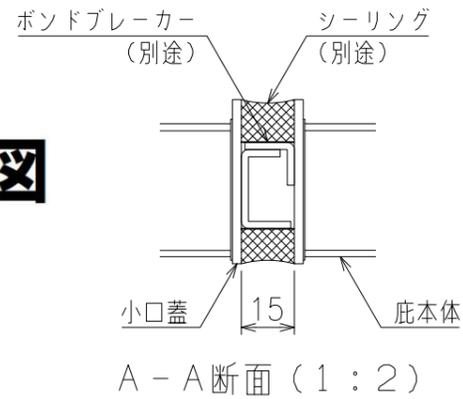
参考寸法図

品目名称	アルミ製底 RSバイザー RS-MS55P型 (ブラケットピース仕様)	工事名称		図面	
図面名称	平面図・断面図・アンカー図	日付	2017-03-27	尺度	1:2 / 1:10
				図番	80-001724-00-30
				頁	/

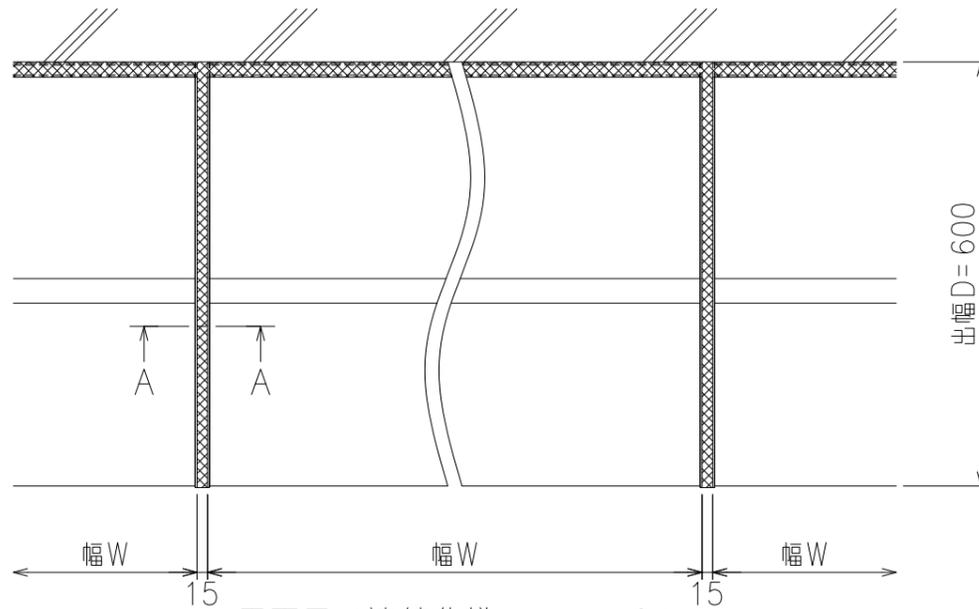


※ 1枚物の最大W寸法は、
3200mm

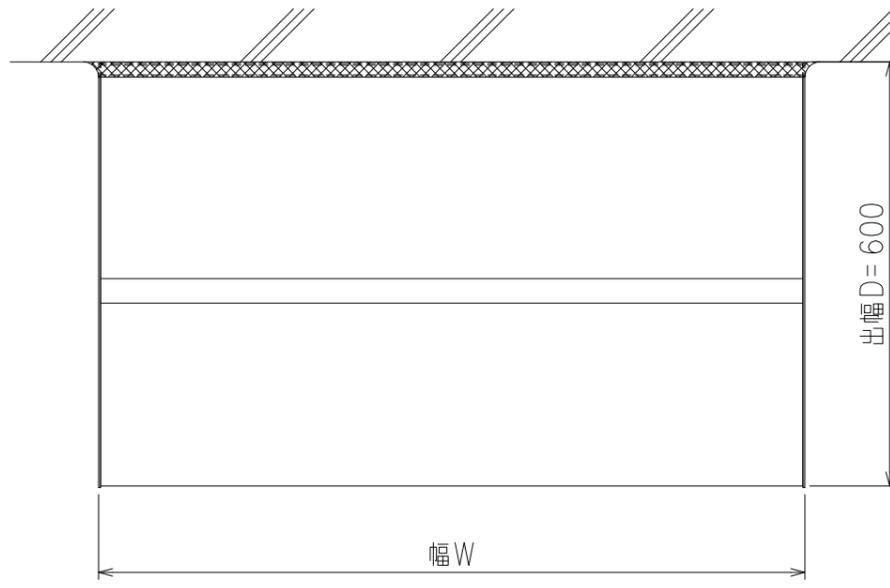
参考寸法図



品目名称	アルミ製底 RSバイザー RS-MS60F型 (ブラケット通し仕様)	工事名称		図面名称	平面図・断面図・アンカー図	日付	2017-03-27	尺度	1 : 2 / 1 : 10	図番	80-001772-00-3B	頁	/
------	------------------------------------	------	--	------	---------------	----	------------	----	----------------	----	-----------------	---	---

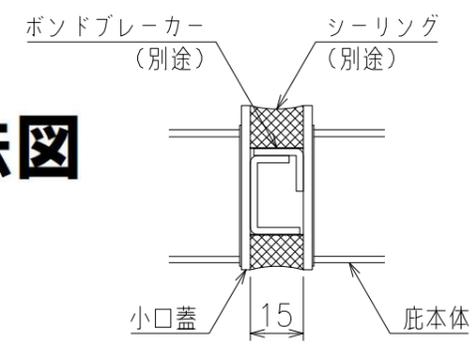


平面図 (連結仕様 1:10)

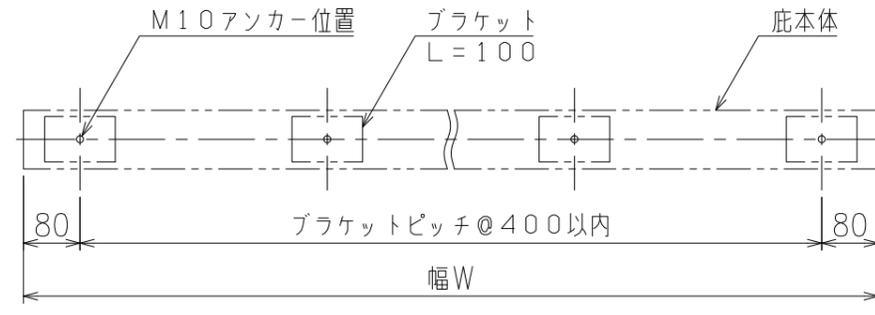


平面図 (単独仕様 1:10)

参考寸法図



A-A断面 (1:2)

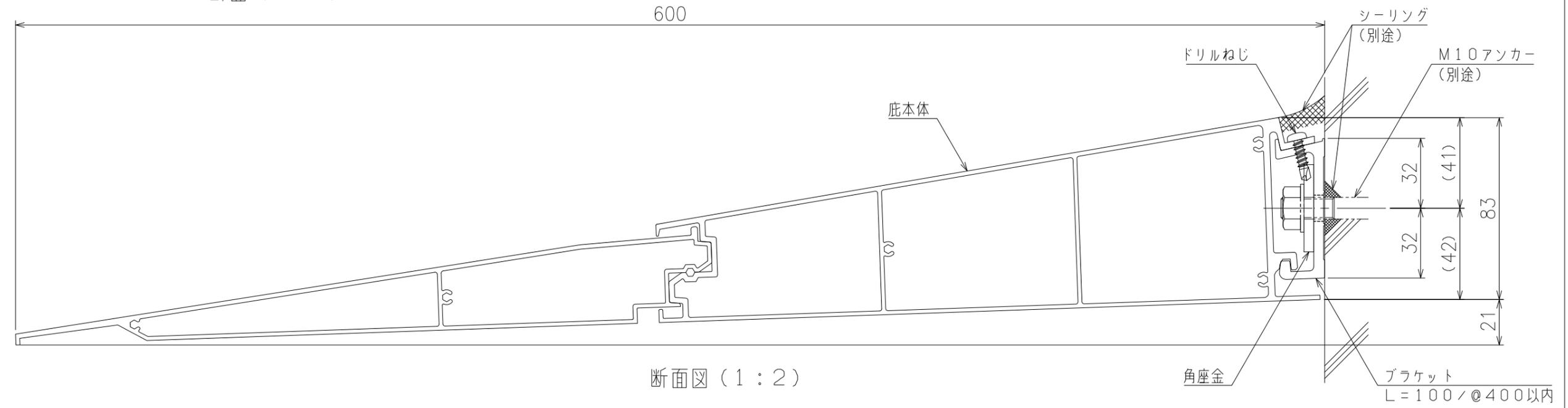


アンカー図 (1:10)

■ ブラケット数量

幅W	ブラケット数
800	3
1100	4
1400	5
1700	5
2000	6
2300	7
2600	8
2900	8
3200	9

※ 1枚物の最大W寸法は、3200mm



断面図 (1:2)

品目名称	アルミ製底 RSバイザー RS-MS60P型 (ブラケットピース仕様)	工事名称		図面名称	平面図・断面図・アンカー図	日付	2017-03-27	尺度	1:2 / 1:10	図番	80-001602-00-30	頁	/
------	-------------------------------------	------	--	------	---------------	----	------------	----	------------	----	-----------------	---	---

アルミニウム製 庇

(RSバイザー RS-MS60、55、50、45、40、35型)

施工要領

確実な施工を行い、製品の安全を確保するため、施工前にこの「施工要領」を必ずお読みください。

— 目 次 —

施工上の注意点	1
アンカー取付要領	2
施工手順	2~3
庇本体が2枚以上連続する場合	4
コーナーがある場合	4

施工上の注意点

- 転落や破損の恐れがありますので、庇に乗ったりぶらさがったりしないでください。
- ねじやボルトは全て確実に締めてください。
- 施工後、ねじやボルトにゆるみやガタつき、その他使用上危険な箇所等がないか確認してください。
- 正規の施工方法以外での取付けや、改造等を行わないでください。

※改良のため、予告なく製品の一部を変更する場合があります。御了承ください。

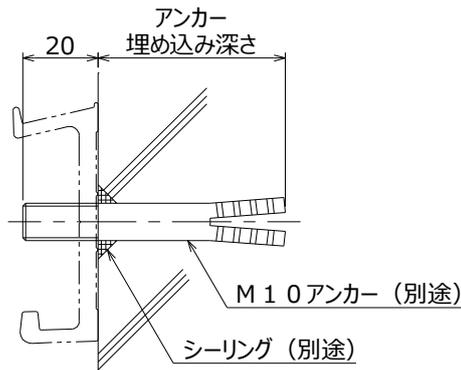
■ アンカー取付要領

アンカーボルトは、右図のように**取付面から20mm**突き出すようにしてください。

※内部への浸水を防ぐためにアンカーボルトの周りに防水シールを施してください。

※アンカーの埋込み深さは使用するアンカーの規定寸法を守って取り付けてください。

※あと施工アンカーによる施工はRC 躯体のみです。

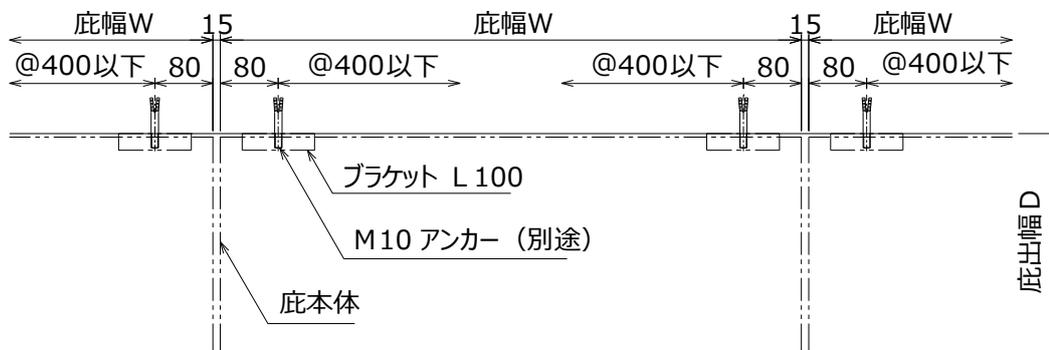


⚠ 注意

アンカーの埋込み深さは、仕上モルタルやタイル等の仕上材の厚みを含まず、躯体部分に確実に入るように入ってください。

アンカー取付位置

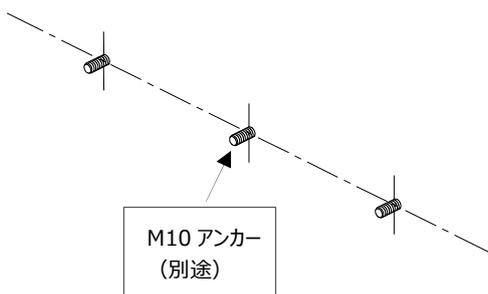
アンカーの取付位置は、庇本体幅Wのうち、**両端 80 mm、取付ピッチ 400 mm以内**にて取り付けてください。



⚠ 注意

ブラケットが通し物の場合は、庇1枚毎にブラケットが1本つきます。
アンカー取付位置は付属の「アンカー図」を参照してください。

■ 施工手順

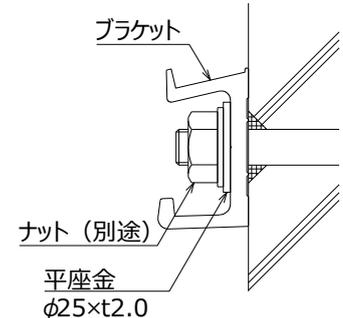
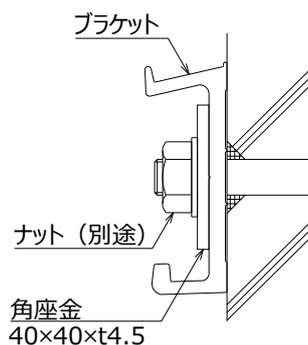


1
アンカー図に基づき墨出しを行い、M10 アンカー (別途) を取り付けます。

【用意するもの】
M10 アンカー (別途)

RS-MS60、55、50,45 型

RS-MS40、35 型



2
ブラケットを取り付けます。
取付面の通りが出ていない場合は、ブラケットの裏側にスペーサー等 (別途) を入れて調整してください。
※付属の「座金」を必ず使用してください (上図参照)。
※**ブラケット取付面の通りが出ないと庇本体が取り付かない場合があります。ブラケットのレベル出しは確実に行ってください。**

【用意するもの】 ブラケット、座金 (40×40×t4.5 または φ25×t2.0)、ナット (別途)

3

底本体に小口蓋を取り付けます。
止水パッキン材が付いている面を底本体に接するようにセットし、付属の皿タッピンねじで固定します。

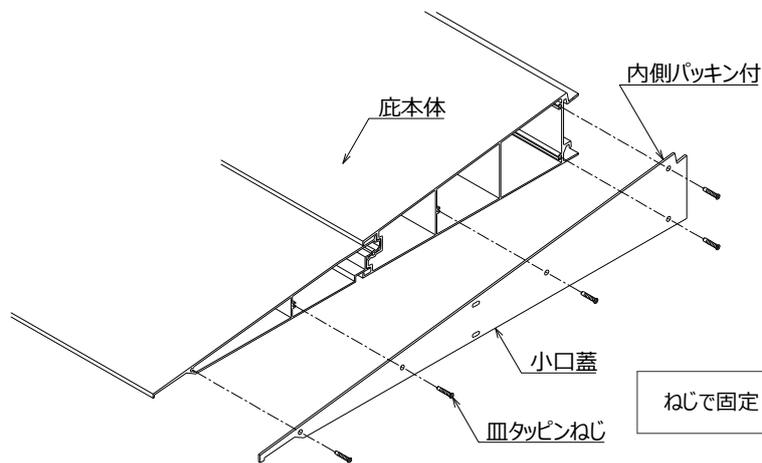
【用意するもの】

小口蓋、皿タッピンねじ



注 意

小口蓋は確実に取付けてください。



4

ブラケットに底を取り付けます。

- ① 底をブラケットに引っ掛けます。
- ② 下穴をあけて、付属のドリルねじで底とブラケットを固定します。
※ブラケット端部から 25 mm の範囲で締結してください。
※ブラケットが通し物の場合は全てのアンカー近辺で締結してください。
※下穴の目安はΦ4.2 です。

【用意するもの】

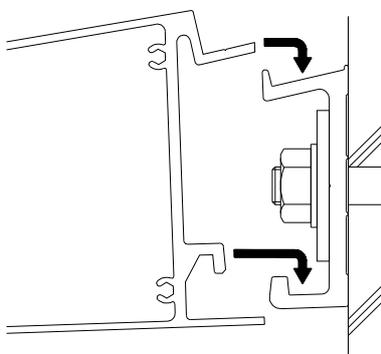
底、ドリルねじ



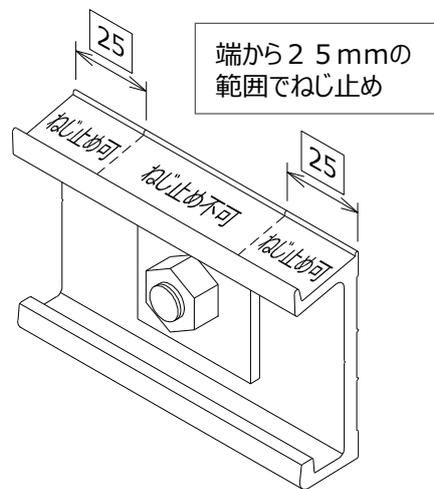
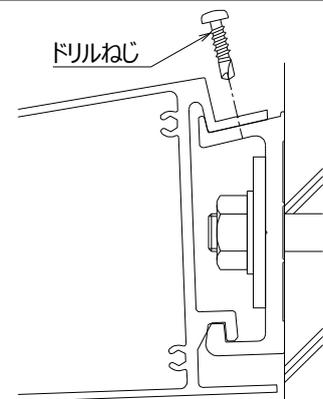
注 意

底がブラケットにしっかりと引っ掛かり、ドリルねじで確実に固定されていることを必ず確認してください。
底がブラケットから外れると事故の原因となります。

①引っ掛ける



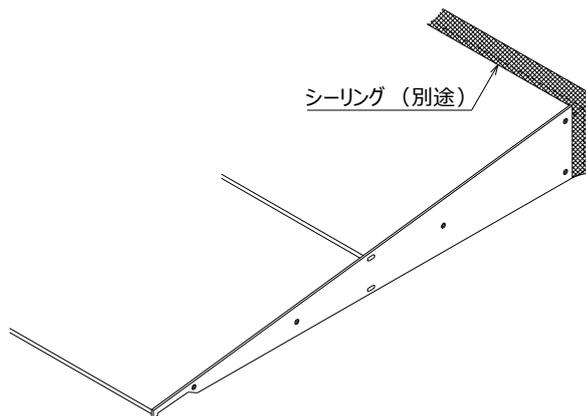
②下穴Φ4.2をあけて、ねじで固定



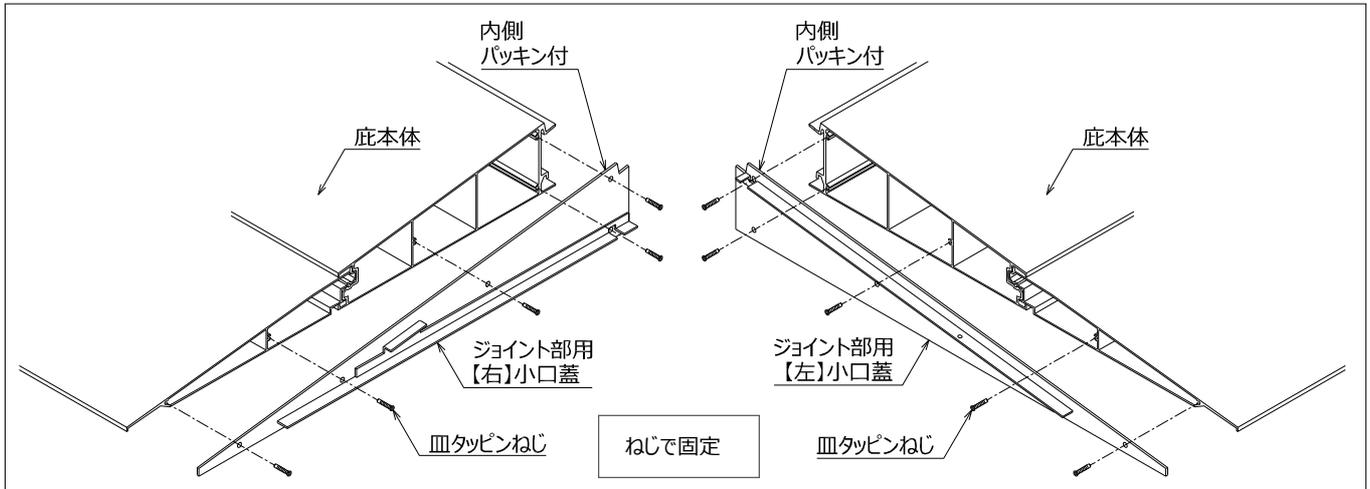
5

底を取り付けた後、底上部・小口蓋端部に防水シール（別途）を施します。

シーリング（別途）



■ 庇本体が 2 枚以上連続する場合 / コーナーがある場合



1

庇本体にジョイント部用小口蓋を取り付けます。※コーナー部の小口蓋は予め取付けています。
止水パッキン材が付いている面を庇本体に接するようにセットし、付属の皿タップピンねじで固定します。



注 意

小口蓋は確実に取付けてください。

【用意するもの】

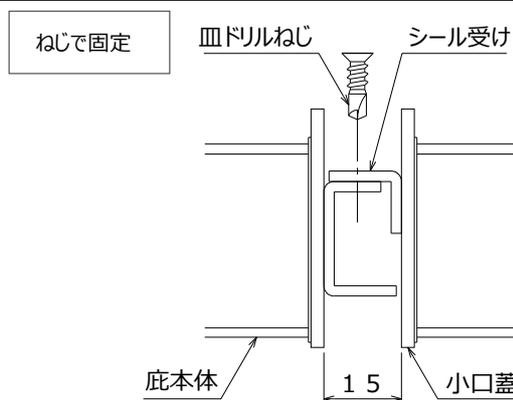
ジョイント部用小口蓋、皿タップピンねじ

2

ブラケットに庇を取り付けます。
庇本体間に 15 mmの目地を設けて、シール受けを付属の皿ドリルねじで固定します。

【用意するもの】

皿ドリルねじ



3

庇を取り付けた後、目地隙間・庇上部・小口蓋端部に防水シール（別途）を施します。

